

消 防 年 報

平 成 2 7 年 版

小 千 谷 市 消 防 本 部

はじめに

小千谷地域の消防組織については、昭和54年4月1日に小千谷市及び川口町の1市1町で小千谷市川口町衛生消防組合として発足し、昭和63年4月1日山古志村の加入により小千谷地域広域事務組合の「小千谷地域消防本部・消防署」として広域消防に取り組んできました。

その後、平成17年に山古志村、平成22年に川口町が長岡市へ合併し、平成22年3月30日をもって小千谷地域広域事務組合は解散となり、31日から小千谷市が事務を引き継ぐとともに長岡市川口地域（旧川口町）の消防事務を受託し、「小千谷市消防本部・消防署」として現在に至っています。

この消防年報は、消防本部管内の消防概況及び平成27年中における消防業務に関する諸業務について収録することにより、消防行政を推進する資料として活用するとともに、広く一般に紹介し、消防行政に対する理解を深めていただくために作成したものです。

本書により消防の現状を御理解いただくとともに、今後とも一層の御支援と御協力を賜れば幸いに存じます。

なお、火災・救急・気象などについては、平成27年1月から12月までの1年間の統計であります。予算、施設及び人員等は会計年度、消防現勢については平成28年4月1日現在としました。

目 次

総務関係

1	小千谷市消防の沿革	1
2	小千谷市消防本部の管轄区域の位置・地勢	5
3	管轄区域の情勢	
	(1) 人口・世帯数	6
	(2) 面積・広ぼう	6
	(3) 市街地・準市街地等の状況	6
	(4) 消防職員及びポンプ車の人口・世帯に対する割合	7
4	消防庁舎の現況	7
5	小千谷市消防本部・署の機構	8
6	歴代消防長・署長	9
7	階級別消防職員状況	10
8	階級別消防職員年齢表	10
9	消防力の整備指針と現況	11
10	消防予算	
	(1) 一般会計に対する割合	12
	(2) 人口・世帯に対する割合	12
	(3) 平成27年度予算状況	13
	(4) 一般会計との比・人口世帯との比	13
11	消防財産	14
12	消防通信施設	
	(1) 通信指令施設	15
	(2) 無線設備	16
	(3) 非常用通信設備	21
	(4) 119回線による火災・救急等受信回数	22
13	気象観測	
	(1) 気象に関する警報・注意報等の受信状況一覧	23
	(2) 気象統計	24

予防関係

1	防火対象物の現況、防火管理者選任状況	29
2	建築同意事務処理状況	
	(1) 過去5年間の処理状況	31
	(2) 月別処理状況	31

(3) 地域別・構造別	3 1
(4) 用途別・工事別	3 2
3 中高層建築物の現況	3 3
4 危険物製造所等の地区別施設数及び現年度指定数量別施設数	3 4
5 危険物製造所等の年間事務処理状況	3 5
6 試験・測定資器材	3 6
7 火災概要表	3 7
8 過去5年間の火災発生状況	4 0
9 過去5年間の月別火災発生状況	4 0

警防関係

1 火災・風水害等出動状況	4 1
2 消防水利	4 2
3 消防資器材装備状況	4 3
4 水防資材備蓄状況	4 3
5 消防車両一覧	4 4

救急救助関係

救急関係

1 事故種別出場状況	4 5
2 事故種別出場比率	4 6
3 地区別出場状況	4 7
4 時間別出場状況	4 8
5 曜日別出場状況	4 9
6 月別出場状況	5 0
7 現場到着所要時間別出場件数の状況	5 1
8 事故種別搬送人員収容所要時間状況	5 2
9 年齢別・程度別・事故種別搬送人員数	5 3
1 0 過去5年間の事故種別出場状況	5 4
1 1 過去10年間の出場件数の推移	5 5
1 2 搬送人員別医療機関問合せ回数	5 5
1 3 転送回数別搬送人員	5 5
1 4 転送理由別件数	5 5
1 5 事故種別収容医療機関状況	5 6
1 6 署所別出場状況	5 7

1 7	覚知別出場状況	5 7
1 8	搬送傷病者居住地状況	5 7
1 9	発生場所別搬送人員	5 7
2 0	応急処置等実施状況	5 8
2 1	救急資器材	5 9
2 2	訓練用資器材	5 9

救助関係

2 3	事故種別、発生場所別救助出動状況	6 0
2 4	事故種別、発生場所別救助活動状況	6 0
2 5	事故種別、発生場所別救助人員状況	6 0
2 6	救助資機材	6 1

消防団関係

1	消防団組織図	6 3
2	歴代消防団長	6 4
3	消防団の編成	6 5
4	消防団員の数	6 5
5	消防団員の階級別報酬	6 5
6	消防団員の費用弁償	6 5
7	消防車両・小型動力ポンプ配置一覧	6 6
8	消防団無線設備	6 7
9	消防器具置場等施設の数	6 9
1 0	平成 2 7 年度中の主な工事等の状況	6 9

協力団体

1	小千谷地域防火管理協会	7 1
2	新潟県危険物安全協会小千谷地区支会	7 2
3	小千谷市幼少年防火委員会	7 3
4	小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会	7 5

總務關係

1 小千谷市消防の沿革

年	・	月	記	事
昭和	24年	8月	小千谷町役場職員による常備消防隊発足	
	26年	1月	本町・町役場に隣接し消防庁舎完成	
		10月	専任職員7名による常備消防本部を設立	
	29年	3月	小千谷町、城川村、千田村の合併により小千谷市制施行	
	32年	10月	消防無線が初めて導入される	
	34年	8月	小千谷市消防本部・消防署の設立（16名）	
	35年	6月	危険物安全協会北魚沼地区支会発足	
	36年	5月	第12回新潟県消防大会開催	
	40年	7月	小千谷市防火管理協会発足	
		10月	既存庁舎が手狭となり、市民体育館下に仮移転する	
	41年	7月	専用車による本格的な救急業務を開始	
	44年	7月	総員36名となり、一応の増員計画を終了する	
		11月	化学車配備	
	45年	10月	第2回全国消防操法大会に小千谷市消防団が、「小型ポンプの部」に出場	
	47年	3月	城内1丁目に消防庁舎完成	
	49年	9月	2B型救急車配備、救急車2台となり救急体制が充実する	
		10月	24m級はしご車配備	
	50年	4月	職員が4名増員され、定員40名となる	
	52年	11月	救助工作車配備	
	53年	11月	通信指令装置導入	
	54年	4月	消防業務が小千谷市川口町衛生消防組合として広域化され新体制で発足 (定員52名)	
	55年	4月	川口出張所開設(定員11名)	
	56年	4月	消防長が専任制となる	
		10月	小千谷地域少年消防クラブ運営指導協議会発足	
		12月	水槽付消防ポンプ自動車(3,000ℓ)配備	
	57年	2月	小千谷市消防団が日本消防協会より「纏」を授賞	
		3月	高速自動車国道関越自動車道(長岡インター～越後川口インター間)供用開始	
		4月	高速救急隊設置により4名増員となる	
		7月	小千谷地域少年婦人防火委員会発足	
		12月	高速自動車国道関越自動車道(長岡インター～小出インター間)供用開始	
	58年	8月	第34回新潟県消防大会開催(会場 小千谷小学校)	
	59年	8月	2B型救急車(4WD)導入(日本赤十字社寄贈)	

年	月	記 事
59年	9月	第1回消防フェスティバル開催
60年	11月	小千谷地域防火管理協会発足20周年記念、防火講演会の開催（サンプラザ）
62年	2月	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型更新
	10月	小千谷市川口町衛生消防組合消防庁舎、訓練塔を新築移転
		第3回全国婦人消防操法大会において、「芋坂・時之島婦人消防隊」が優勝する
昭和	63年 4月	山古志村の加入により、小千谷地域広域事務組合と名称変更する（定員66名）
	11月	山古志出張所開設（職員9名）
平成	元年 4月	職員4名増員され65名となる
	2年 10月	第12回全国消防操法大会に小千谷市消防団が「小型ポンプの部」に出場する
	4年 4月	職員2名増員され67名となる
	10月	第13回全国消防操法大会に小千谷市消防団が「ポンプ車の部」に出場し、新潟県初の優良賞を受賞する
	5年 3月	救助工作車Ⅱ型（伸縮式照明装置付）更新
	4月	職員2名増員され69名となる
	6年 4月	職員2名増員され71名となる
	12月	川口出張所消防ポンプ自動車CD-I型更新
	7年 10月	第11回全国婦人消防操法大会において「上ノ山婦人消防隊」が優良賞を受賞する
	11月	小千谷地域防火管理協会設立30周年記念、防火講演会の開催（市民会館）
	8年 3月	37m級はしご車更新
	9月	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型導入（日本損害保険協会寄贈）
	11月	高規格救急車配備
	12月	蒲原沢土石流災害新潟県応援派遣隊、第1次隊及び第5次隊として、それぞれ5名を派遣
	9年 7月	山古志出張所救急車更新（日本赤十字社寄贈）
	10月	消防ポンプ自動車CD-I型更新
	10年 9月	小千谷市総合防災訓練実施
	11年 7月	川口出張所高規格救急車配備
	12年 8月	2B型救急車（4WD）導入（日本赤十字社寄贈）
	14年 3月	川口出張所訓練塔更新
	4月	新潟県消防防災航空隊へ1名派遣（2ヵ年間）
	6月	信濃川・魚野川水防演習参加（高梨地先）
	15年 2月	消防本部融雪施設（さく井）工事

年	月	記 事
平成 15年	3月	消防緊急通信指令装置導入
	9月	新潟県・小千谷市合同総合防災訓練実施
	11月	高規格救急車（救急1号車）更新 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練参加（新潟市）
	12月	地域省エネルギー普及促進事業による消防庁舎空調・照明工事
平成 16年	7月	7. 13水害が発生し、新潟県広域応援隊として、救助隊（ボート隊延べ16名）を中之島町へ、救急隊（延べ9名）を見附市及び三条市へ派遣 管内に7. 16水害が発生
	8月	指令広報車（指令5号車）更新
	10月	23日川口町を震源とする「新潟県中越大震災」が発生、新潟県広域応援隊及び緊急消防援助隊を受援
平成 17年	4月	山古志村が長岡市への合併に伴い組合を離脱、山古志出張所及び備品等に移管し職員8名が長岡市へ移籍（定員63名）
	11月	携帯119番直接受信整備工事
平成 18年	2月	小千谷市消防団に司令車配備（日本消防協会寄贈）
	6月	水槽付消防用自動二輪車（ミストドラゴン）2台配備（日本機械工業(株)寄贈）
	11月	川口出張所訓練塔災害復旧工事
平成 19年	1月	消防庁舎車庫増築工事
	2月	消防ポンプ自動車（災害対応型）配備
	7月	新潟県中越沖地震発生、新潟県広域応援隊として消防隊（延べ25名）及び救急隊（延べ6名）を柏崎市へ派遣
	9月	資機材運搬車（指令2号車）更新
平成 20年	9月	消防庁舎アスベスト除去工事
	12月	本署救急車（救急2号車）更新（日本赤十字社寄贈）
平成 21年	2月	化学消防ポンプ自動車（化学1号車）更新
平成 22年	3月	川口町と長岡市の合併に伴い、小千谷地域広域事務組合を解散 小千谷市消防本部・消防署に組織及び名称変更 長岡市川口地域の消防事務を受託
	9月	消防緊急通信指令装置改修工事
	12月	救助工作車Ⅱ型更新
	3月	11日宮城県沖を震源とする「東北地方太平洋沖地震」が発生 緊急消防援助隊として消火部隊（延べ55名）及び後方支援部隊（延べ20名）を宮城県石巻市へ派遣

年 ・ 月	記 事
平成 23年 7月	新潟・福島豪雨が発生し、新潟県広域応援隊として救助隊（ボート隊延べ5名）を三条市へ派遣 小千谷市豪雨災害対策本部設置
9月	消防庁舎照明設備改修工事（LED照明入替）
平成 24年 1月	小千谷市豪雪災害対策本部設置
2月	高規格救急車（川口救急1号車）更新
4月	新潟県消防防災航空隊へ1名派遣（3ヵ年間）
5月	南魚沼市トンネル事故が発生し、新潟県広域応援隊として救助隊（延べ15名）を南魚沼市へ派遣
9月	小千谷市総合防災訓練実施 位置情報通知システム（統合型）設置
12月	消防ポンプ自動車（川口ポンプ1号車）更新 本部消雪井戸改修工事
平成 25年 1月	小千谷市豪雪警戒本部設置
2月	小千谷市豪雪災害対策本部設置
6月	消防庁舎空調メンテナンス工事
12月	川口出張所浴室等改修工事
平成 26年 3月	消防救急デジタル無線設備設置
4月	消防救急デジタル無線運用開始
7月	第65回新潟県消防大会開催（小千谷大会）
10月	高規格救急車（救急2号車）更新
平成 27年 7月	川口出張所指令広報車更新
9月	関東東北豪雨が発生し、緊急消防援助隊として消火部隊5名を茨城県常総市へ派遣 気象観測装置更新（元中子）
10月	川口出張所ロータリー除雪機更新
11月	塩谷気象観測装置を新潟大学から譲受
12月	消防ポンプ自動車（小千谷ポンプ1号車）更新

2 小千谷市消防本部の管轄区域の位置・地勢

当消防本部は、新潟県の中央部やや南に位置し、管轄区域は、小千谷市及び長岡市川口地域（旧川口町：長岡市から消防事務を受託）です。



	方位	経緯度
東 経	極東	138度 54分
	極西	138度 44分
北 緯	極北	37度 23分
	極南	37度 12分

3 管轄区域の情勢

(1) 人口・世帯数

平成28.4.1 現在

地域区分	平成27年10月国勢調査		平成28年3月末住民基本台帳	
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数
小千谷市	36,510	12,170	36,957	12,743
長岡市川口地域	4,479	1,386	4,630	1,532
合 計	40,989	13,556	41,587	14,275

地域区分	平成27年3月末現在人口		
	人 口	日本人	外国人
小千谷市	36,957	36,781	176
長岡市川口地域	4,630	4,613	17
合 計	41,587	41,394	193

(2) 面積・広ぼう

平成28.4.1 現在

地域区分	面積 (k m ²)	広 ば ろ う (km)		周囲 (km)	標 高 (m)	
		東 西	南 北		最 高	最 低
小千谷市	155.12	17.21	20.01	86.1	581.0	27
長岡市川口地域	50.03	4.10	15.00	49.0	433.5	50
合 計	205.15	—	—	—	—	—

(3) 市街地・準市街地等の状況

地域区分	市 街 地 域 数	準 市 街 地 地 域 数			その他の地域数 (有・無)
		5,000人以上 10,000人未満	3,000人以上 5,000人未満	1,000人以上 3,000人未満	
小千谷市	1	1	1	3	有
長岡市川口地域	—	—	—	2	有
合 計	1	1	1	5	

※ 平成27年度消防力の整備指針に基づく市町村消防施設整備計画実態調査の数値

(4) 消防職員及びポンプ車の人口・世帯に対する割合

平成28.4.1 現在

区 分	消防職員 1 名当り			消防ポンプ自動車 1 台当り		
	人 口	世 帯 数	面 積	人 口	世 帯 数	面 積
	人	世帯	k m ²	人	世帯	k m ²
	6 8 2	2 3 4	3. 4	8, 3 1 7	2, 8 5 5	4 1. 0
職員・ポンプ車数	6 1 名			5 台		

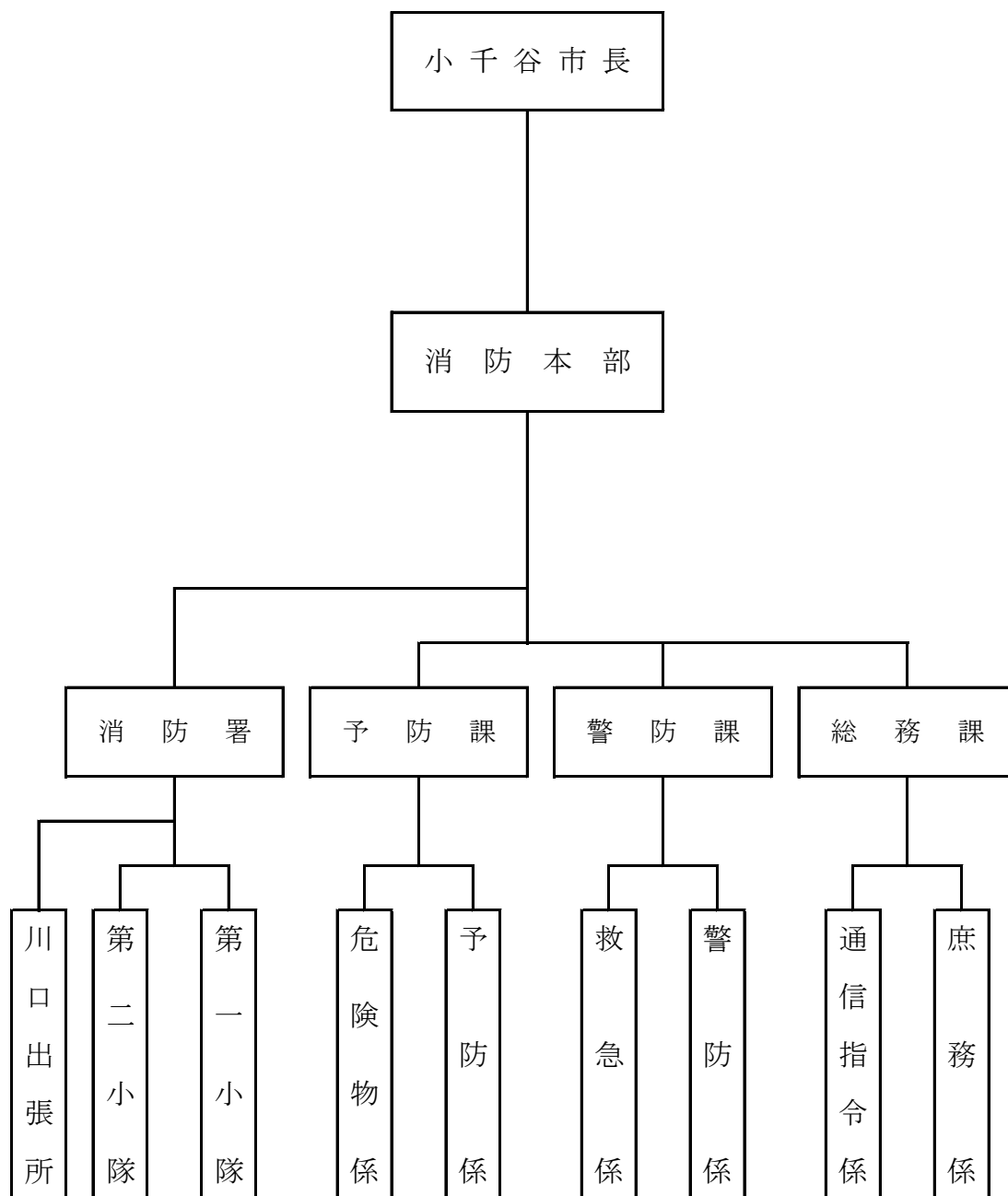
(小数点以下は四捨五入)

4 消防庁舎の現況

区 分	所 在 地	構 造	設置年月日	面 積 (m ²)		
				敷 地	建 築	延
消防本部 消 防 署	小千谷市城内 3 丁目 1 番 9 号	鉄筋 コン クリ ート 3 階 建	昭和62年 10月 1日	3, 701. 21	739. 09	1, 609. 11
川口出張所 (長岡市貸与)	長岡市 川口牛ヶ島 1 6 0 番地 3	鉄筋 コン クリ ート 2 階 建	昭和55年 4月 1日	662. 00	96. 00	194. 76

5 小千谷市消防本部・署の機構

平成28. 4. 1 現在



6 歴代消防長・署長

平成28.4.1 現在

区分	氏名	在任期間	備考
消防長	初 位下 松五郎	S 29. 3. 10 ~ S 30. 4. 12	市長兼務
	2 位下 松五郎	S 30. 5. 1 ~ S 34. 4. 20	〃
	3 佐藤 武	S 34. 5. 1 ~ S 38. 4. 29	〃
	4 佐藤 武	S 38. 4. 30 ~ S 42. 4. 29	〃
	5 佐藤 武	S 42. 4. 30 ~ S 46. 4. 29	〃
	6 佐藤 武	S 46. 4. 30 ~ S 50. 4. 29	〃
	7 星野 行男	S 50. 4. 30 ~ S 54. 4. 29	〃
	8 星野 行男	S 54. 4. 30 ~ S 56. 3. 31	〃
	9 若井 保	S 56. 4. 1 ~ S 60. 3. 31	
	10 石坂 和男	S 60. 4. 1 ~ S 61. 12. 31	
	11 風間 久司	S 62. 1. 1 ~ S 62. 4. 30	(消防長心得)
	12 羽鳥 昌治	S 62. 5. 1 ~ H 2. 3. 31	
	13 山口 恒	H 2. 4. 1 ~ H 4. 3. 31	
	14 風間 久司	H 4. 4. 1 ~ H 11. 3. 31	
	15 本田 晃一	H 11. 4. 1 ~ H 13. 3. 31	
	16 金箱 貞夫	H 13. 4. 1 ~ H 15. 3. 31	
	17 中村 繁一	H 15. 4. 1 ~ H 17. 3. 31	
	18 横山 貴吉	H 17. 4. 1 ~ H 20. 3. 31	
	19 風間 隆一	H 20. 4. 1 ~ H 21. 3. 31	
	20 瀬沼 賢一	H 21. 4. 1 ~ H 24. 3. 31	
	21 大塚 幸夫	H 24. 4. 1 ~ H 26. 3. 31	
	22 安藤 高志	H 26. 4. 1 ~ H 28. 3. 31	
	23 瀬沼 務	H 28. 4. 1 ~ 現在に至る	
署長	初 山崎 留吉	S 34. 8. 1 ~ S 35. 3. 31	
	2 平沢 恭栄	S 35. 4. 1 ~ S 40. 9. 30	
	3 和田 耕作	S 40. 10. 1 ~ S 48. 3. 31	
	4 岡 忠	S 48. 4. 1 ~ S 51. 3. 31	
	5 和田 明	S 51. 4. 1 ~ S 56. 3. 31	
	6 若井 保	S 56. 4. 1 ~ S 58. 6. 30	
	7 風間 久司	S 58. 7. 1 ~ H 2. 3. 31	
	8 本田 晃一	H 2. 4. 1 ~ H 11. 3. 31	
	9 西脇 英郎	H 11. 4. 1 ~ H 16. 3. 31	
	10 篠田 敏治	H 16. 4. 1 ~ H 17. 3. 31	
	11 風間 隆一	H 17. 4. 1 ~ H 20. 3. 31	
	12 安藤 高志	H 20. 4. 1 ~ H 26. 3. 31	
	13 瀬沼 務	H 26. 4. 1 ~ H 28. 3. 31	
	14 和田 孝史	H 28. 4. 1 ~ 現在に至る	

7 階級別消防職員状況

平成28.4.1 現在
(条例定数 63 人)

階級 区分	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 長	消防 副長	消防士	合計
消防本部(署)	1	6	22	12	4	5	50
川口出張所		1	5	2	1	2	11
合計	1	7	27	14	5	7	61

8 階級別消防職員年齢表

平成28.4.1 現在

階級 区分	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 長	消防 副長	消防士	合計
20才以下						2	2
21～25才						4	4
26～30才					4	1	5
31～35才				10	1		11
36～40才			2	4			6
41～45才			9				9
46～50才			6				6
51～55才		1	5				6
56才以上	1	6	5				12
計	1	7	27	14	5	7	61
平均年齢	59.0	57.3	47.8	34.3	28.8	22.1	41.5

(少数点第2位以下四捨五入)

9 消防力の整備指針と現況

平成28.4.1 現在

		国 基準台数 (台)	市町村 基準台数 (台)	現有台数 (台)	市町村 基準人員 (人)	現有人員 (人)
消防ポンプ自動車 (第5条)	消防隊員 (第27条)	2	1	1	30	17
消防ポンプ自動車 (第5条 第5項)		—	1	1	12	10
はしご自動車 (第7条)		1	1	1	消防ポン プ自動車 乗換運用	—
化学消防車 (第8条)		2	2	2		—
特殊車等 (第16条)		—	3	3		—
救急自動車 (第13条)	救急隊員 (第28条)	3	3	2	9	10
救助工作車 (第14条)	救助隊員 (第29条)	1	1	1	15	8
指揮車 (第15条)	指揮隊員 (第30条)	1	1	1	9	4
非常用消防自動車等 (第17条)		—	2	2	—	—
非常用救急自動車 (第17条)		1	1	1	—	—
通信員 (第31条)		—	—	—	6	6
予防要員 (第32条)		—	—	—	7	1
庶務の処理等の人員 (第34条)		—	—	—	6	5
合 計		11	16	15	94	61

10 消防予算

(1) 一般会計に対する割合

(単位：千円)

年度別	一般会計 決算額	消防費 決算額	比率 %	消 防 費 内 訳				
				常 備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	水防費	防災費
21	21,804,620	617,919	2.8	480,290	75,600	44,866	790	16,373
22	18,723,701	678,412 (100,111)	3.6	581,758 (99,655)	57,875	26,264	685	11,830
23	18,135,073	938,660 (99,655)	5.1	558,096 (99,655)	55,991	30,655	2,435	291,482
24	17,605,212	943,976 (105,509)	5.4	578,809 (105,509)	56,061	27,255	653	281,197
25	18,301,291	1,235,925 (99,005)	6.8	1,066,591 (99,005)	55,426	29,247	776	83,884
26	17,620,359	707,919 (105,717)	4.0	551,725 (105,717)	60,379	25,864	459	69,489

※ () 内の数値は長岡市からの委託費。

(2) 人口・世帯に対する割合

年度別	消 防 費 決算額(千円)※	人口に対する割合		世帯に対する割合	
		人口(人)	1人当り(円)	世帯数	1世帯当り(円)
21	617,919	39,624	15,595	12,525	49,335
22	578,301	39,407	14,675	12,586	45,948
23	839,005	39,085	21,466	12,630	66,430
24	838,467	38,544	21,754	12,679	66,130
25	1,136,920	38,131	29,816	12,596	90,260
26	602,202	37,836	15,916	12,691	47,451

※長岡市からの委託費を除く。

(3) 平成28年度予算状況

(単位：千円)

市 区 分	消 防 費					
	合 計	常 備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	水防費	防災費
小千谷市 (川口地域)	805,044	609,420 (124,049)	61,238	40,484	1,485	92,417

※ () 内の数値は、長岡市からの委託費。

(4) 一般会計との比 ・ 人口世帯との比

市 区 分	平成28年度当初予算			消防費予算額の 人口に対する割合		消防費予算額の 世帯に対する割合	
	一般会計 (千円)	消防費 (千円) ※	比率 (%)	人 口 (人)	1人当り (円)	世帯数	1世帯当り (円)
小千谷市	19,185,951	680,995	3.5	36,957	18,427	12,743	53,441

※ 長岡市からの委託費を除く。

注 消防予算の表中、常備消防費、比率、人口、世帯に対する割合については、次のように表してあります。

- ・一般会計に対する消防費の比率は、少数点第2位以下四捨五入
- ・人口、世帯数に対する消防費の割合は、少数点以下四捨五入

1 1 消防財産

平成28.4.1 現在

区分	名 称	数 量	備 考
消 防 本 部 ・ 消 防 署	消防ポンプ自動車	3 台	P 4 4 参照
	梯子車	1 台	〃
	化学車	1 台	〃
	水槽付消防ポンプ自動車	1 台	〃
	救助工作車	1 台	〃
	高規格救急自動車	3 台	〃
	高度救命処置用機材	3 式	
	災害多目的車	1 台	P 4 4 参照
	資機材運搬車	1 台	〃
	防火指導車	2 台	〃
	指揮車	1 台	〃
	水槽付消防用自動二輪車	2 台	〃
	救命ボート	1 隻	
	ロータリー除雪機	1 台	
	消防救急デジタル無線装置	1 式	
	位置情報通知システム（統合型）	1 式	
	消防緊急通信指令システム	1 式	
	消防情報支援システム	1 式	
	気象観測装置	2 式	元中子、塩谷地内設置
	雨量観測計（5台分）	1 式	
消火訓練用シミュレーター装置	1 式		
高度救命処置訓練人形	1 体		
消 防 団	消防ポンプ自動車	8 台	P 6 6 参照
	積載車	3 4 台	〃
	司令車	1 台	〃
	指揮広報車	1 台	〃
	小型動力ポンプ	4 台	
	水出し操法用小型動力ポンプ	1 台	
	緊急時用飲料水精製装置	1 台	

※1件100万円以上の物品及び車両

1 2 消防通信施設

(1) 通信指令施設

平成28.4.1 現在

装置の名称	装置の機能		
		容量	実装
指令台 消防緊急通信指令システム 富士通	119番受付回線	20	8
	指令回線	15	2
	局線回線	10	1
	専用回線	10	7
	内線回線	5	2
	自動順次指令装置	10	5
	自動案内装置 (テレフォンガイド)	災害出動に伴う内容を音声によって案内するサービス。 TEL 83-3030	30
情報収集装置	119回線の着信応答時、録音開始時刻を記録するとともに通話音声を自動録音する。(デジタル録音媒体) 主録音装置 (1台) TAKACOM VR-464 副録音装置 (2台) TEAC IR-300		
非常用指令設備	指令電話装置の中核機能障害時、指令台に代わって119番の受信及び個別指令ができる機能を有する。		
位置情報通知システム	NTT固定電話及び携帯電話等から119番通報時の発信位置情報が通知され、位置を自動的に指令装置地図上に表示する。		
メール119通報	事前に登録した聴覚障がい者より、携帯電話メール及びパソコンメールで119番要請を専用のパソコンで受信する。		

(2) 無線設備

☆ デジタル無線 (基地局・固定局)

平成28.4.1 現在

呼 出 名 称	出力(W)	配 置 場 所	備 考
おぢやしょうぼうほんぶ	10	消防本部・署	活動波 1 (市波) 活動波 2 (団波) 活動波 3 (救急波) 主運用波 統制波 1
おぢやしょうぼうやまもとやま	1	山本山	統制波 2 統制波 3

☆ アナログ無線 (基地局・固定局)

平成28.4.1 現在

呼 出 名 称	出力(W)	配 置 場 所	備 考
おぢやしょうぼうほんぶ	10	消防本部・署	県内共通波
おぢやしょうぼうかわぐち	10	川口出張所	防災相互波

※おぢやしょうぼうかわぐちは基地局のみ

☆ デジタル無線陸上移動局

平成28.4.1 現在

呼 出 名 称	市波	団波	救波	主波	統制波			複信	配 置 場 所	出力 (W)	製造年
					1	2	3				
おぢやかがく 1	○	○	○	○	○	○	○		化 学 車	10	H25
おぢやぼんぷ 1	○	○	○	○	○	○	○		ポ ン プ 1	10	H25
おぢやぼんぷ 2	○	○	○	○	○	○	○		ポ ン プ 2	10	H25
おぢやたんく 1	○	○	○	○	○	○	○		タ ン ク 車	10	H25
おぢやきゅうじょ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	救 助 工 作 車	10	H25
おぢやはしご 1	○	○	○	○	○	○	○		梯 子 車	10	H25
おぢやきゅうきゅう 1	○	○	○	○	○	○	○	○	救 急 1	10	H25
おぢやきゅうきゅう 2	○	○	○	○	○	○	○	○	救 急 2	10	H25
おぢやしれい 1	○	○	○	○	○	○	○		指 令 1	10	H25
おぢやしれい 2	○	○	○	○	○	○	○		指 令 2	10	H25
おぢやしれい 3	○	○	○	○	○	○	○		指 令 3	10	H25
おぢやしれい 5	○	○	○	○	○	○	○	○	指 令 5	10	H25
おぢやかがく 11	○	○	○	○	○	○	○		化学車携帯	5	H25
おぢやかがく 12	○	○	○	○	○	○	○		筒先用携帯	5	H25
おぢやぼんぷ 11	○	○	○	○	○	○	○		ポ ン プ 1 携	5	H25
おぢやぼんぷ 12	○	○	○	○	○	○	○		筒先用携帯	5	H25
おぢやぼんぷ 21	○	○	○	○	○	○	○		ポ ン プ 2 携	5	H25
おぢやぼんぷ 22	○	○	○	○	○	○	○		筒先用携帯	5	H25
おぢやたんく 11	○	○	○	○	○	○	○		タンク車用携	5	H25

呼 出 名 称	市波	団波	救波	主波	統制波			複信	配 置 場 所	出力 (W)	製造年
					1	2	3				
おぢやたんく 12	○	○	○	○	○	○	○		筒先用携帯	5	H25
おぢやきゅうじょ 11	○	○	○	○	○	○	○		救助工作車帯	5	H25
おぢやはしご 11	○	○	○	○	○	○	○		梯子車携帯	5	H25
おぢやきゅうきゅう 11	○	○	○	○	○	○	○		救急1号車帯	5	H25
おぢやきゅうきゅう 21	○	○	○	○	○	○	○		救急2号車帯	5	H25
おぢやしれい 10	○	○	○	○	○	○	○		署長用携帯	5	H25
おぢやしれい 11	○	○	○	○	○	○	○		副署長用携帯	5	H25
おぢやしれい 12	○	○	○	○	○	○	○		予防課長用帯	5	H25
おぢやしれい 13	○	○	○	○	○	○	○		総務課長用帯	5	H25
おぢやしれい 14	○	○	○	○	○	○	○		小隊長用携帯	5	H25
おぢやしれい 15	○	○	○	○	○	○	○		副小隊長用帯	5	H25
おぢやしれい 16	○	○	○	○	○	○	○		消防業務用帯	5	H25
おぢやしれい 17	○	○	○	○	○	○	○		消防業務用帯	5	H25
おぢやしれい 18	○	○	○	○	○	○	○		消防業務用帯	5	H25
おぢやしれい 19	○	○	○	○	○	○	○		消防業務用帯	5	H25
おぢやしれい 20	○	○	○	○	○	○	○		消防業務用帯	5	H25
おぢやしれい 21	○	○	○	○	○	○	○		緊援隊用携帯	5	H25
おぢやしれい 22	○	○	○	○	○	○	○		緊援隊用携帯	5	H25
おぢやしき 1	○	○	○	○	○	○	○	○	現場指揮本部	10	H25
おぢやしき 2	○	○	○	○	○	○	○	○	現場指揮本部	10	H25
かわぐちしょうぼう 900	○	○	○	○	○	○	○		川口出張所固定移動局	10	H25

呼 出 名 称	市波	団波	救波	主波	統制波			複信	配 置 場 所	出力 (W)	製造年
					1	2	3				
かわぐちぼんぷ 1	○	○	○	○	○	○	○		川口ポンプ車	10	H25
かわぐちきゅうきゅう 1	○	○	○	○	○	○	○	○	川口救急車	10	H25
かわぐちしれい 1	○	○	○	○	○	○	○	○	川口指令車	10	H25
かわぐちぼんぷ 11	○	○	○	○	○	○	○		川口ポンプ車用携帯	5	H25
かわぐちぼんぷ 12	○	○	○	○	○	○	○		筒先用携帯	5	H25
かわぐちきゅうきゅう 11	○	○	○	○	○	○	○		川口救急車用携帯	5	H25
かわぐちしれい 11	○	○	○	○	○	○	○		出張所長用携帯	5	H25
かわぐちしれい 12	○	○	○	○	○	○	○		川口指令車用携帯	5	H25

救 波 : 救急波 主 波 : 主運用波 複 信 : 複信波

車載無線機	10W	15台
現場指揮簡易基地局	10W	2台
固定移動局	10W	1台
携帯無線機	5W	30台

☆ アナログ無線陸上移動局(運用中のものに限る)

平成28.4.1 現在

呼 出 名 称	県波	防波	配 置 場 所	出力(W)	製造年
お ぢ や か が く 1	○	○	化 学 車	5	H 1 6
お ぢ や ぼ ん ぷ 1	○	○	ポ ン プ 1	5	H 1 6
お ぢ や ぼ ん ぷ 2	○	○	ポ ン プ 2	5	H 1 6
お ぢ や た ん く 1	○	○	タ ン ク 車	5	H 1 6
お ぢ や き ゅ う じ ょ 1	○	○	救 助 工 作 車	5	H 1 6
お ぢ や は し ご 1	○	○	梯 子 車	5	H 1 6
お ぢ や き ゅ う き ゅ う 1	○	○	救 急 1	5	H 1 5
お ぢ や き ゅ う き ゅ う 2	○	○	救 急 2	5	H 8
お ぢ や し れ い 1	○	○	指 令 1	5	H 1 6
お ぢ や し れ い 2	○	○	指 令 2	5	H 1 6
お ぢ や し れ い 3	○	○	指 令 3	5	H 1 6
お ぢ や し れ い 5	○	○	指 令 5	5	H 1 6
お ぢ や し れ い 1 4	○	○	小 隊 長 用 携 帯	5	H 1 6
お ぢ や し き 1	○	○	現場指揮本部 簡易基地局	1 0	H 1 6
か わ ぐ ち ぼ ん ぷ 1	○	○	川 口 ポ ン プ 車	5	H 1 6
か わ ぐ ち き ゅ う き ゅ う 1	○	○	川 口 救 急 車	5	H 1 6
か わ ぐ ち し れ い 1	○	○	川 口 指 令 車	5	H 1 6
か わ ぐ ち ぼ ん ぷ 1 1	○	○	川口分隊長用 携 帯	5	H 1 2
か わ ぐ ち き ゅ う き ゅ う 1 1	○	○	救急隊長用 携 帯	5	H 1 1
か わ ぐ ち し れ い 1 1	○	○	出張所長用 携 帯	5	H 9

県 波 : 県内共通波

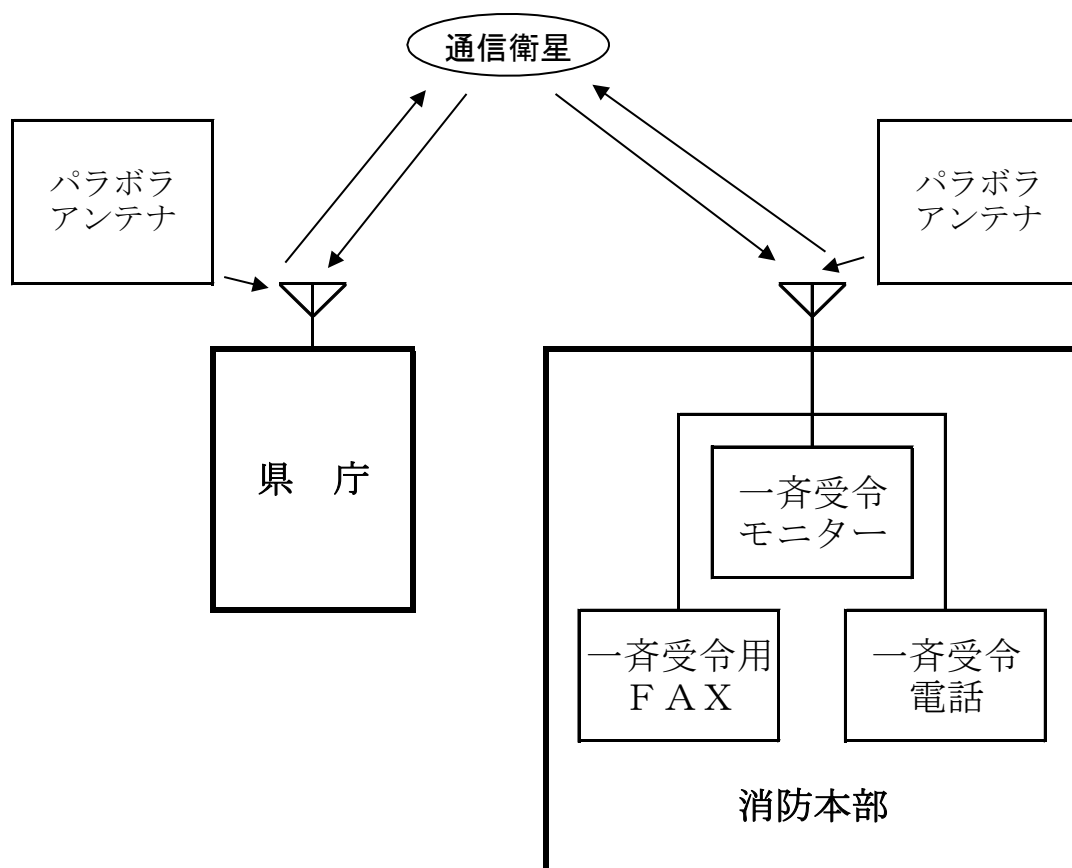
防 波 : 防災相互波

現場指揮簡易基地局	1 0 W	1 台
携帯無線機	5 W	1 9 台

(3) 非常用通信設備

- 災害時優先電話 11回線
 - ・ 固定電話回線 6回線
 - ・ 携帯電話回線 5回線

- 防災行政無線（V S A T） 3点セット
 - ・ パラボラアンテナ
 - ・ 一斉受令用F A X
 - ・ 一斉受令電話



(4) 119回線による火災・救急等受信回数

☆ 119番専用回線受信状況（IP電話及びFAX含む。）

平成27.1.1～12.31

種別/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4
救急	103	70	68	59	76	69	103	84	64	80	74	70	920
救助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の災害 (警戒含む)	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	3	0	8
いたずら・嘘	1	1	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	7
間違い	4	4	4	5	3	1	4	2	2	5	5	2	41
機器誤発報	0	3	1	1	0	0	5	0	0	0	0	0	10
通報訓練	4	4	13	13	15	27	18	13	30	50	19	18	224
企業試験	1	2	3	6	6	15	3	3	8	13	17	8	85
無言電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
各種問合せ	1	6	1	3	7	4	5	5	2	3	4	3	44
その他	11	9	8	5	7	2	7	3	4	7	5	3	71
転送	火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救急	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	4
	救助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	126	100	98	92	116	121	146	113	112	162	128	104	1,418

前年(前年比) 1,514 (-96)

☆ 携帯119番専用回線受信状況

種別/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
火災	1	0	0	1	2	0	0	2	0	1	0	0	7	
救急	24	23	17	26	28	26	31	37	25	28	19	37	321	
救助	3	1	0	1	0	1	1	5	1	0	0	0	13	
その他の災害 (警戒含む)	0	0	0	0	1	0	1	0	1	3	1	1	8	
いたずら・嘘	1	2	2	0	0	9	1	0	1	0	0	0	16	
間違い	2	0	5	4	5	1	5	5	2	4	0	1	34	
機器誤発報	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
通報訓練	1	8	1	2	2	2	0	1	1	3	3	0	24	
企業試験	0	0	0	3	0	0	0	7	0	3	0	0	13	
無言電話	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4	
各種問合せ	1	0	0	5	8	2	3	3	3	5	0	1	31	
その他	3	2	5	2	10	12	2	2	7	4	5	5	59	
転送	火災	0	0	0	1	3	0	0	1	1	0	0	6	
	救急	3	4	0	1	2	1	5	5	1	1	0	3	26
	救助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
合計	40	40	32	47	63	54	49	67	43	54	28	48	565	

前年(前年比) 589 (-24)

13 気象観測

(1) 気象に関する警報・注意報等の受信状況一覧（新潟地方気象台発表）

平成27. 1. 1～12. 31

種 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警 報	大雨												
	洪水												
	暴風												
	暴風雪												
	大雪	1	2	1									
合 計	1	2	1										4

種 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
注 意 報	雷	8	6	6	4	3	11	8	15	8	9	6	9	93
	霜				7						2	5	14	
	低温		1						2				3	
	強風				2		1	1	1		1		6	
	乾燥			2	2	5	1	1	1				12	
	濃霧	5	5	9	10	2	7	7	2	5	9	10	5	76
	大雨													
	洪水						6	4	2	5	2	3		22
	大雪	7	5	4										16
	雪崩	3												3
	融雪		1	3	2									6
	着雪	9	5	4									3	21
	着氷													
	風雪													0
合 計	32	23	28	27	10	25	21	20	22	20	22	22	272	

※ 警報及び注意報の種別にあつては、当市が内陸部に位置することから波浪及び高潮を省略しています。

(2) 気象統計

☆ 月別気象観測統計

観測地：元中子／平成27. 1. 1～12. 31

	気温(°C)			湿度(%)		風速(m/s)		気圧(hPa)		実効湿度(%)			雨量(mm)	
	平均	最高	最低	平均	最低	平均	最高	現地	海面	平均	最高	最低	総量	日最高
1月	0.3	6.9	-7.0	※—	—	—	—	—	—	—	—	—	283.0	23.5
2月	1.3	10.6	-5.0	86.7	39.8	2.7	18.9	1010.0	1017.9	83.2	93.4	50.2	189.0	32.5
3月	3.8	19.7	-2.6	80.3	14.8	2.7	21.8	1011.4	1019.3	81.1	90.3	66.2	195.0	33.5
4月	9.6	28.7	-0.9	76.1	13.0	3.0	15.0	1010.2	1017.9	77.5	90.9	53.4	78.0	21.5
5月	17.6	29.7	5.7	65.4	16.5	2.7	14.6	1004.0	1011.4	64.5	76.4	55.5	80.5	22.5
6月	20.3	29.8	10.7	79.1	33.7	2.3	13.7	1001.7	1009.1	77.5	86.4	64.7	105.0	18.0
7月	24.8	37.8	17.0	81.0	25.0	2.0	12.3	1003.0	1010.2	81.1	88.0	69.9	128.0	31.0
8月	25.2	35.6	18.8	82.3	30.1	2.0	13.9	1002.9	1010.1	81.5	91.1	72.2	121.0	37.0
9月	19.9	28.4	12.2	86.2	34.9	2.0	12.4	1006.6	1014.0	87.4	92.6	76.7	138.5	40.5
10月	14.4	26.4	6.5	83.0	29.9	2.6	18.6	1008.8	1016.3	79.4	86.1	42.5	114.5	25.5
11月	10.8	22.4	2.6	91.5	34.7	2.3	18.4	1013.8	1021.4	90.7	94.1	85.0	247.0	59.0
12月	4.9	17.6	-2.1	91.3	44.8	2.5	15.5	1012.7	1020.5	90.7	96.4	83.5	332.5	58.0

※ 気象データは、元中子（旧北陸農業試験場）に設置してある自動気象観測装置から消防本部へデータ転送されている。なお、1月分は機器不具合により一部データ集計なし。

☆ 月別天候・雪量集計

観測地：消防本部／平成27. 1. 1～12. 31

	天 候					雪 量 (cm)		
	快晴	晴れ	曇り	雨	雪	総降雪	最高降雪	最高積雪
1月	1	12	176	63	120	192	35	140
2月		23	137	37	139	123	47	180
3月	6	56	195	76	43	39	25	108
4月	5	113	137	94				
5月	1	192	149	30				
6月	6	108	191	55				
7月	7	112	213	40				
8月		110	207	55				
9月		69	224	67				
10月	1	148	166	57				
11月	8	45	166	141	2			
12月		68	166	106	124	34	15	17
合 計	35	1,056	2,127	821	428			

※ 天候観測は、2時間毎に観測。(1日12回)

※ 天候の雪には、あられ・みぞれを含む。

※ 雪量は、午前9時に観測。(1日1回)

☆ 降積雪量観測集計

平成27年初雪～平成28年雪消

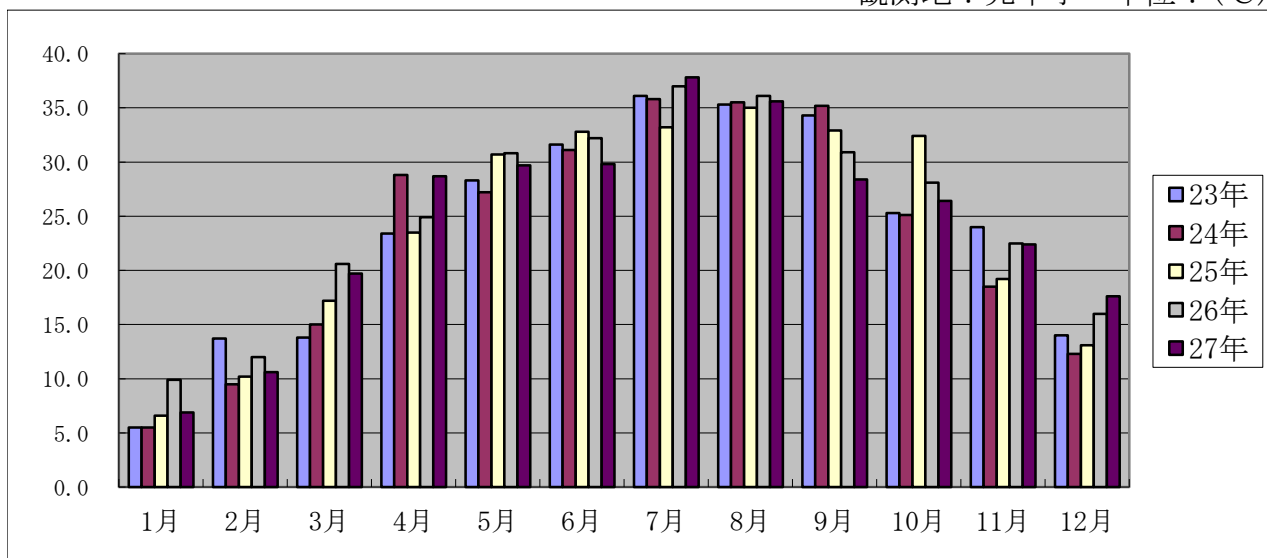
観測所名	降雪量合計	最大降雪量	最大積雪量	根雪			最大降雪量 全観測所 平均	最大積雪量 全観測所 平均	
				初日	終日	根雪期間			
県指定観測所	元中子 ※1 (旧北陸農業試験場)	—	—	1月25日 74cm	12月28日	3月6日	70日	55cm ※元中子及び塩谷を除く	126cm
	池ヶ原 (古田地内)	732cm	3月2日 44cm	3月2日 151cm	12月27日	3月29日	94日		
	塩谷地区 ※1	—	—	3月2日 205.8cm	12月17日	4月8日	114日		
東山小学校 ※2	505cm	1月25日 83cm	1月25日 133cm	1月8日	3月27日	80日			
川井 (本田)	563cm	3月2日 42cm	3月2日 112cm	12月27日	3月27日	92日			
岩沢 (市ノ口) ※2	504cm	1月22日 39cm	3月2日 113cm	12月27日	3月28日	93日			
真人南部 (中山)	712cm	1月25日 42cm	3月2日 139cm	12月27日	3月29日	94日			
真人北部 (市之沢)	867cm	12月29日 1月25日 45cm	3月2日 180cm	12月26日	4月2日	99日			
片貝中学校 ※2	308cm	1月25日 72cm	1月25日 108cm	1月8日	3月7日	60日			
千田中学校 ※2	253cm	1月25日 70cm	1月26日 90cm	1月20日	3月11日	52日			
消防本部	422cm	1月25日 57cm	1月25日 80cm	1月12日	3月6日	55日			

※1 自動観測装置による観測のため降雪深及び最大降雪深については、観測不可能。

※2 各学校及び岩沢観測所については、休校日、土日祝日は観測を実施していない。

☆ 過去5年間1月～12月の最高気温調べ

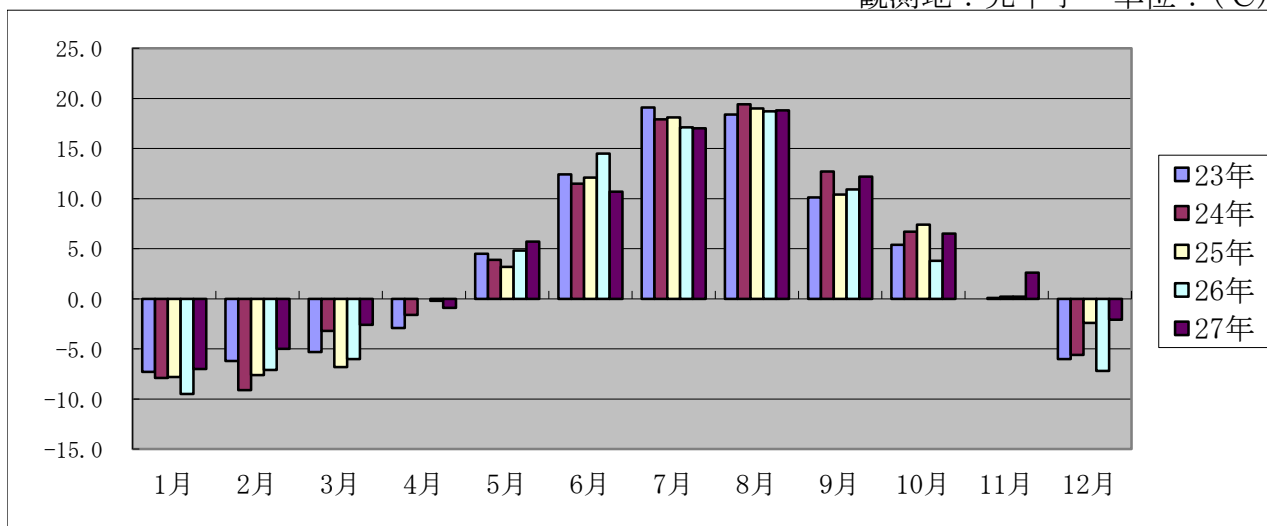
観測地：元中子 単位：(°C)



年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
23年	5.5	13.7	13.8	23.4	28.3	31.6	36.1	35.3	34.3	25.3	24.0	14.0
24年	5.5	9.5	15.0	28.8	27.2	31.1	35.8	35.5	35.2	25.1	18.5	12.3
25年	6.6	10.2	17.2	23.5	30.7	32.8	33.2	35.0	32.9	32.4	19.2	13.1
26年	9.9	12.0	20.6	24.9	30.8	32.2	37.0	36.1	30.9	28.1	22.5	16.0
27年	6.9	10.6	19.7	28.7	29.7	29.8	37.8	35.6	28.4	26.4	22.4	17.6

☆ 過去5年間1月～12月の最低気温調べ

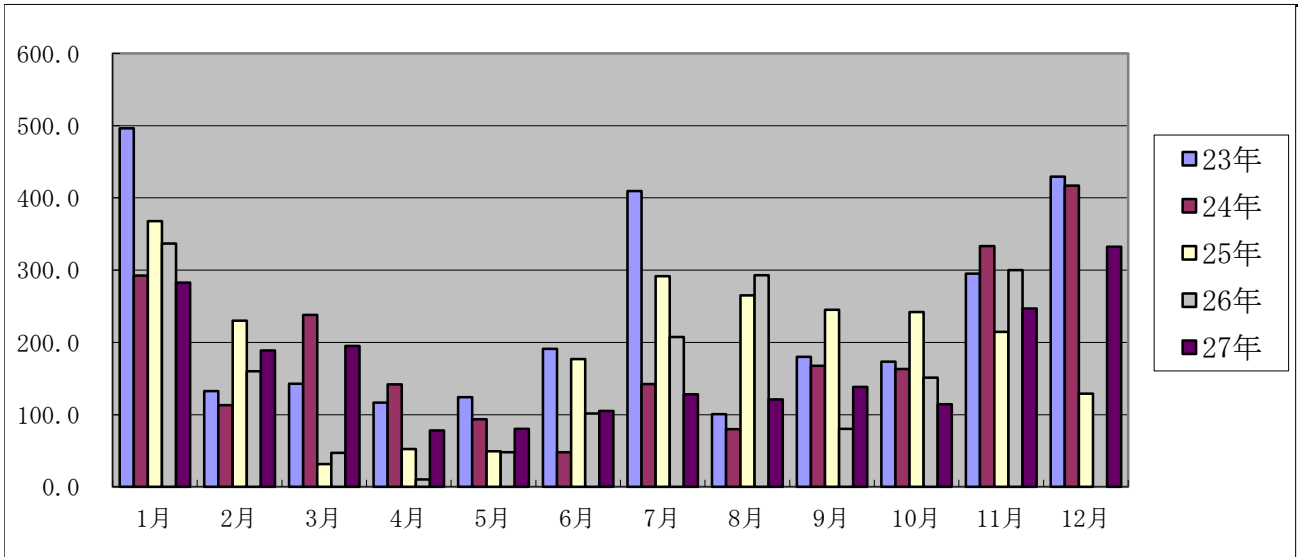
観測地：元中子 単位：(°C)



年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
23年	-7.3	-6.2	-5.3	-2.9	4.5	12.4	19.1	18.4	10.1	5.4	0.0	-6.0
24年	-7.9	-9.1	-3.2	-1.6	3.9	11.5	17.9	19.4	12.7	6.7	0.1	-5.6
25年	-7.8	-7.6	-6.8	0.0	3.2	12.1	18.1	19.0	10.4	7.4	0.2	-2.4
26年	-9.5	-7.1	-6.0	-0.2	4.8	14.5	17.1	18.7	10.9	3.8	0.2	-7.2
27年	-7.0	-5.0	-2.6	-0.9	5.7	10.7	17.0	18.8	12.2	6.5	2.6	-2.1

☆ 過去5年間1月～12月の降雨量調べ

観測地：元中子 単位：(mm)

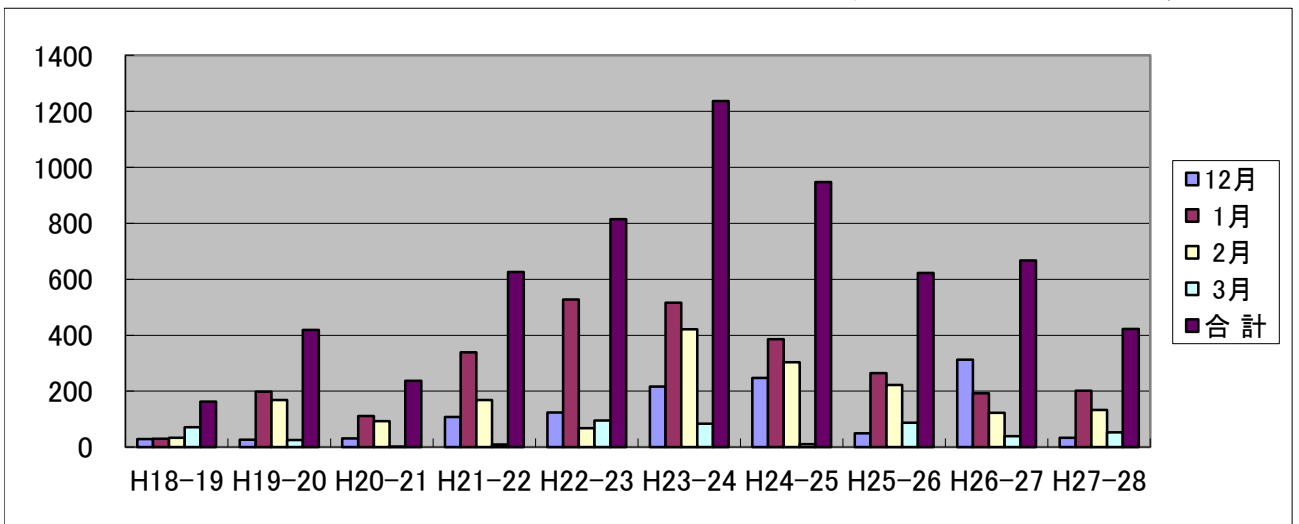


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
23年	496.5	132.5	143.0	116.5	124.0	191.0	409.5	100.5	180.0	173.5	295.0	429.5
24年	292.5	113.0	238.0	142.0	93.5	48.0	142.5	80.0	167.5	163.0	333.5	417.0
25年	368.0	230.0	31.5	52.5	49.5	177.0	291.5	265.0	245.0	242.0	214.5	129.0
26年	337.0	160.0	47.0	10.5	48.0	101.5	207.5	293.0	80.5	151.0	300.0	欠測
27年	283.0	189.0	195.0	78.0	80.5	105.0	128.0	121.0	138.5	114.5	247.0	332.5

※ 雨量には、雪解け水を含みます。

☆ 過去10年間の降雪量調べ

観測地：消防本部 単位：(cm)



	H18-19	H19-20	H20-21	H21-22	H22-23	H23-24	H24-25	H25-26	H26-27	H27-28
12月	29	27	31	108	124	216	247	49	313	34
1月	30	198	111	339	528	516	386	265	192	202
2月	33	168	93	169	68	421	304	222	123	133
3月	71	26	2	10	95	84	11	87	39	53
合計	163	419	237	626	815	1237	948	623	667	422



預防關係

1 防火対象物の現況、防火管理者選任状況

☆ 小千谷市

平成28.4.1 現在

防火対象物の別		防火対象物数	防火管理者選任状況		消防計画届出数
			必要対象	選任届出済	
(1)	イ	映画館			
	ロ	公会堂・集会場	72	33	31
(2)	イ	キャバレー・カフェ			
	ロ	遊技場	3	3	3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗			
	ニ	カラオケボックス等	1	1	1
(3)	イ	料理店	2	2	2
	ロ	飲食店	47	37	29
(4)		百貨店・マーケット	78	44	37
(5)	イ	旅館・ホテル	12	8	8
	ロ	寄宿舎・共同住宅	183	21	17
(6)	イ	病院・診療所	21	6	6
	ロ	老人短期入所施設等	10	6	6
	ハ	老人デイサービスセンター等	25	15	15
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3	2	2
(7)		小・中・高・各種学校	38(18)	16	15
(8)		図書館	2	2	2
(9)	ロ	公衆浴場			
(10)		車両の停車場	1		
(11)		寺院	31	24	21
(12)	イ	工場・作業場	268	29	27
(13)	イ	自動車車庫	30		
(14)		倉庫	186	1	1
(15)		前各項に該当しない事業所	215	26	21
(16)	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	176	77	57
	ロ	上記(イ)以外の複合用途防火対象物	138	5	5
(17)		重要文化財			
(18)		アーケード(50m以上)			
合計			1,542	358	306

※防火対象物数は棟数。7項()内は施設数。

防火対象物の数		区 分	防火対象物数	防火管理者選任状況		消防計画届出数
				必 要 対 象	選 任 届 出 済	
(1)	イ	映 画 館				
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	16	14	13	14
(2)	イ	キャバレー・カフェー				
	ロ	遊 技 場				
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗				
	ニ	カラオケボックス等				
(3)	イ	料 理 店				
	ロ	飲 食 店	7	6	6	6
(4)		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	4	3	3	3
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	7	3	3	3
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	26	2	2	2
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所	1			
	ロ	老人短期入所施設等	1	1	1	1
	ハ	老人デイサービスセンター等	3	3	3	3
	ニ	幼稚園・特別支援学校				
(7)		小 ・ 中 ・ 高 ・ 各 種 学 校	2(2)	2	2	2
(8)		図 書 館	1	1	1	1
(9)	ロ	公 衆 浴 場	1			
(10)		車 両 の 停 車 場	1			
(11)		寺 院	6	6	3	3
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場	42	4	4	4
(13)	イ	自 動 車 車 庫	4			
(14)		倉 庫	21			
(15)		前各項に該当しない事業所	41	4	4	4
(16)	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	25	14	12	12
	ロ	上記(イ)以外の複合用途防火対象物	10	1	1	1
(17)		重 要 文 化 財				
(18)		ア ー ケ ー ド (5 0 m 以 上)				
合 計			219	64	58	59

※防火対象物数は棟数。7項()内は施設数。

2 建築同意事務処理状況

(1) 過去5年間の処理状況

区分	年別	23年	24年	25年	26年	27年
受付数		72	58	78	56	60
同意数		72	58	78	56	60
不同意数		0	0	0	0	0

(2) 月別処理状況

平成27.1.1~12.31

区分	年別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
受付数		60	4	3	9	1	3	5	9	4	5	8	7	2
同意数		60	4	3	9	1	3	5	9	4	5	8	7	2
不同意数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 用途地域別 ・ 構造等別

平成27.1.1~12.31

用途地域別 耐火性及び 構造別	計	第一種 低層 住居専用	第一種 中高層 住居専用	第一種 住居	第二種 住居	準 住居	近隣 商業	商 業	準 工 業	工 業	その他 指定なし 及び
許可申請等及びその 他の建築行為*	6			1						1	4
準耐火物	1								1		
耐火物	4										4
木造	18			2		1	1			3	11
鉄骨造	28		1	2						4	21
アルミニウム造	3			2					1		
合計	60		1	7		1	1		2	8	40

* 「許可申請等」とは、確認申請以外の建築基準法による申請等とする。

「その他の建築行為」とは、当該欄以下に計上する新築、増築、改築、移転及び用途変更以外の行為とし、修繕又は模様替え等の行為とする。

※1 耐火性を有する場合は、耐火性を優先した計上としている。また、構造別は主たる構造で計上している。

※2 同意1件に対し複数の物件等がある場合は、主たるものを計上している。

(4) 用途別 ・ 工事別

平成27.1.1~12.31

用途別		工事別							許可申請等 及びその他の 建築行為 *
		計	新 築	増 築	改 築	移 転	用途変更		
防 火 対 象 物	併 用 住 宅	1	1						
	共 同 住 宅								
	事 務 所	5	2	3					
	学 校								
	車 庫	3	1	2					
	倉 庫	8	5	2					1
	工場・作業場	7	1	6					
	旅館・ホテル								
	病院・診療所								
	福祉施設	5		3	1				1
	神社・寺院・教会								
	集 会 場								
	遊 技 場								
	店 舗	1	1						
	飲 食 店								
	その他の事業所等	3	1	2					
防以 火 対 象 物 外	専 用 住 宅	5	3						2
	そ の 他	22	13	4	3				2
合計		60	28	22	4	0	0		6

* 「許可申請等」とは、確認申請以外の建築基準法による申請等とする。

「その他の建築行為」とは、当該欄左記に計上する新築、増築、改築、移転及び用途変更以外の行為とし、修繕又は模様替え等の行為とする。

※1 用途が住居以外のものは、用途別「その他」に計上している。

※2 同意1件に対し複数の物件等がある場合は、主たるものを計上している。

3 中高層建築物の現況

平成28.4.1 現在

防火対象物の別		区分	計	4階		5階		6階	7階	8階	9階	10階
				小千谷市	長川岡口地 市域	小千谷市	長川岡口地 市域	小千谷市	小千谷市	小千谷市	小千谷市	小千谷市
(1)	イ	映画館										
	ロ	公会堂・集会場	1	1								
(2)	イ	キャバレー・カフェー										
	ロ	遊技場										
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗										
	ニ	カラオケボックス等										
(3)	イ	料理店										
	ロ	飲食店	1	1								
(4)		百貨店・マーケット										
(5)	イ	旅館・ホテル	5	2	1	1	1					
	ロ	寄宿舎・共同住宅	41	23	2	13	1	1				1
(6)	イ	病院・診療所	1							1		
	ロ	老人短期入所施設等										
	ハ	老人デイサービスセンター等										
	ニ	幼稚園・特別支援学校										
(7)		小・中・高・各種学校	4	4								
(8)		図書館										
(9)	ロ	公衆浴場										
(10)		車両の停車場										
(11)		寺院										
(12)	イ	工場・作業場	11	7		1		2	1			
(13)	イ	自動車車庫										
(14)		倉庫	1	1								
(15)		前各項に該当しない事業所	6	6								
(16)	イ	特定防火対象物の存する 複合用途防火対象物	11	5	1	3		2				
	ロ	上記(イ)以外の複合用途 防火対象物	4	3		1						
(17)		重要文化財										
(18)		アーケード(50m以上)										
合計			86	53	4	19	2	5	1	1		1

4 危険物製造所等の地区別施設数及び現年度指定数量別施設数

平成28. 3. 31 現在

製造所等別 区分		合計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所		
年 度 別	平成 26年度	小 千 谷 市	180		20	24	6	45	1	28	2	26			28	
		長岡市川口地域	31		3	1		12		3		5			7	
		合 計	211		23	25	6	57	1	31	2	31			35	
	指 定 数 量 別 内 訳	5倍以下	85		9	4	1	21	1	31	1	1			16	
		5倍を越え10倍以下	55		11	6		22				4			12	
		10倍を越え50倍以下	39		2	10	5	12			1	4			5	
		50倍を越え100倍以下	9		1			2				6				
		100倍を越え150倍以下	4			1						3				
		150倍を越え200倍以下	5									5				
		200倍を越え1,000倍以下	8									8				
		1,000倍を越え5,000倍以下	6				4 *1								2	
		5,000倍を越え10,000倍以下														
		10,000倍を越えるもの														
	平成 27年度	小 千 谷 市	180		20	24	6	45	1	28	2	26			28	
		長岡市川口地域	31		3	1		13		2		5			7	
		合 計	211		23	25	6	58	1	30	2	31			35	
		指 定 数 量 別 内 訳	5倍以下	84		8	4	1	22	1	30	1	1			16
			5倍を越え10倍以下	55		11	6		22				4			12
			10倍を越え50倍以下	40		3	10	5	12			1	4			5
50倍を越え100倍以下			9		1			2				6				
100倍を越え150倍以下			4			1						3				
150倍を越え200倍以下			5									5				
200倍を越え1,000倍以下			8									8				
1,000倍を越え5,000倍以下			6				4 *1								2	
5,000倍を越え10,000倍以下																
10,000倍を越えるもの																

*1 準特定屋外タンクを1基含む。

5 危険物製造所等の年間事務処理状況

平成27. 4. 1～平成28. 3. 31

製造所等別 区分		合計	製造所	貯蔵所						取扱所				
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所
許	設置	3					2							1
	変更	24			6				1		9			8
可	移動タンク貯蔵所の常置場所の変更													
	転出 転入													
完成検査	設置	1					1							
	変更	24			6				1		9			8
廃止届		1							1					

6 試験・測定資器材

平成28.4.1 現在

名 称	規 格	数 量
自動火災報知設備検査器具	熱式、煙式	各 1 式
テ ス タ ー	デジタルテスター M300	1
超 音 波 厚 さ 計	TI55. TI-P01	1
ガ ス 検 知 器	北 川 式	1
可 燃 性 ガ ス 検 知 器	F M - I C	1
温 度 計	表面温度計	1
カ メ ラ	火災原因調査用キャノン60D他	2
ポ ー タ ー ス モ ー ク	出力10m ³ /分～31m ³ /分	2
レ ー ザ ー レ ン ジ メ ー タ	H I L T I P D 3 0	1

7 火災概要表

区 分		27年 (A)	26年 (B)	比較 (A-B)
火 災 件 数		15	18	△ 3
種 別	建 物 火 災	5	8	△ 3
	林 野 火 災	0	0	0
	車 両 火 災	6	1	5
	その他の火災	4	9	△ 5
損 害 額 (千 円)		20,093	14,107	5,986
建 物 焼 損 面 積 (m ²)		129	56	73
林 野 焼 損 面 積 (a)		0	0	0
死 傷 者	死 亡	0	0	0
	負 傷	2	2	0
り 災 世 帯 数		4	5	△ 1
り 災 者 数		8	10	△ 2

出火原因 焼損区分	内 訳 (平成27. 1. 1~12. 31)												
	ごみの焼却	スプレー缶	たばこ	ガスコンロ	電気ストーブ配線	エンジン故障	車両電気配線	放火の疑い	水槽用ヒーター				合 計
全 焼							1						1
半 焼					1								1
部 分 焼								1					1
ぼ や		1		1									2
林 野													
車 両			1			2	1	2					6
そ の 他	4												4
合 計	4	1	1	1	1	2	1	3	1				15

☆ 小千谷市

区 分		27年 (A)	26年 (B)	比較 (A-B)
火 災 件 数		14	13	1
種 別	建 物 火 災	5	8	△ 3
	林 野 火 災	0	0	0
	車 両 火 災	5	0	5
	その他の火災	4	5	△ 1
損 害 額 (千 円)		20,083	14,098	5,985
建 物 焼 損 面 積 (m ²)		129	56	73
林 野 焼 損 面 積 (a)		0	0	0
死 傷 者	死 亡	0	0	0
	負 傷	2	2	0
り 災 世 帯 数		4	5	△ 1
り 災 者 数		8	10	△ 2

出火原因 焼損区分	内 訳 (平成27. 1. 1~12. 31)												
	ごみの焼却	スプレー缶	たばこ	ガスコンロ	電気ストーブ配線	エンジン故障	車両電気配線	放火の疑い	水槽用ヒーター				合 計
全 焼							1						1
半 焼					1								1
部 分 焼								1					1
ぼ や		1		1									2
林 野													
車 両			1			1	1	2					5
そ の 他	4												4
合 計	4	1	1	1	1	1	1	3	1				14

☆ 長岡市川口地域

区 分		27年 (A)	26年 (B)	比較 (A-B)
火 災 件 数		1	5	△ 4
種 別	建 物 火 災	0	0	0
	林 野 火 災	0	0	0
	車 両 火 災	1	1	0
	その他の火災	0	4	△ 4
損 害 額 (千 円)		10	9	1
建 物 焼 損 面 積 (m ²)		0	0	0
林 野 焼 損 面 積 (a)		0	0	0
死 傷 者	死 亡	0	0	0
	負 傷	0	0	0
り 災 世 帯 数		0	0	0
り 災 者 数		0	0	0

出火原因 焼損区分	内 訳 (平成27. 1. 1~12. 31)													
	エンジン故障													合 計
全 焼														
半 焼														
部 分 焼														
ぼ や														
林 野														
車 両	1													1
そ の 他														
合 計	1													1

8 過去5年間の火災発生状況

区分	火災件数								焼損面積			損害額(千円)					1件当り建物焼損面積(m ²)	1件当り建物損害額(千円)
	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	林野	車両	その他	建物(m ²)	林野(a)	その他(m ²)	合計	建物	林野	車両	その他		
23年	15	3	0	1	3	0	3	5	612	0	5,079	79,280	78,432	0	848	0	87	11,205
24年	25	3	0	3	6	0	3	10	263	0	3,672	17,019	15,936	0	1,046	37	22	1,328
25年	22	2	0	1	5	0	3	11	215	0	28,995	38,240	28,905	0	9,335	0	27	3,613
26年	18	0	0	2	6	0	1	9	56	0	10,560	14,107	13,782	0	9	316	7	1,723
27年	15	1	1	1	2	0	6	4	129	0	6,517	20,093	19,224	0	788	81	26	3,845

※少数点以下は四捨五入

9 過去5年間の月別火災発生状況

	23年				24年				25年				26年				27年			
	建物	林野	車両	その他	建物	林野	車両	その他	建物	林野	車両	その他	建物	林野	車両	その他	建物	林野	車両	その他
1月	1								1								1			
2月													2				1		1	
3月	1				1				1				2				1			
4月	1		1	1	1				1			1				6			1	1
5月				3	3				3	1	1	6	1		1	1			1	2
6月									1	1			3	1		2				
7月							1				1		1							
8月	1		1		2		1	4					1						1	1
9月	3				2		1	2			1						1			
10月			1	1													1		2	
11月									1			1								
12月					3				2											
小計	7		3	5	12		3	10	8		3	11	8		1	9	5		6	4
合計	15				25				22				18				15			



敬防關係

1 火災・風水害等出動状況

平成27. 1. 1～12. 31

区 分 種 別	消 防 署 (川口出張所を含む)		小 千 谷 市 消 防 団	
	出 動 数	延 人 員	出 動 数	延 人 員
火 災	15	236	9	140
救 急 業 務	1,563	4,827		
救 助 活 動	20	125		
風 水 害 等 の 災 害				
演 習 ・ 訓 練	64	303	31	1,342
広 報 ・ 指 導	287	842	155	840
警 防 調 査	125	407		
原 因 調 査	10	39		
特 別 警 戒	27	162	13	261
捜 索	8	39	1	10
予 防 査 察	155	407	2	5
誤 報 等				
そ の 他	1,000	2,032	3	21
合 計	3,274	9,419	214	2,619

※ 警戒出動の出動回数・延人員については「その他」に含んでいます。
(警戒出動～自動火災報知機の誤作動による出動、未確認情報による出動、道路上及び河川等に流出した油の処理等)

2 消防水利

平成28.4.1 現在

水利 管轄区分	公設水利								
	消火栓			防火水槽・貯水槽					
	地上式	地下式	計	100m ³ 以上	60m ³ 以上 100m ³ 未満	40m ³ 以上 60m ³ 未満	20m ³ 以上 40m ³ 未満	20m ³ 未満	計
小千谷市	435	332	767	2	12	220	68	57	359
	301	254	555	2	12	220	3	1	238
長岡市 川口地域	95	11	106		2	99	6		107
	75	7	82		2	99	2		103
計	530	343	873	2	14	319	74	57	466
	376	261	637	2	14	319	5	1	341

※ 上段は行政財産数、下段は消防水利の基準（昭和39年消防庁告示第7号）数。

※ 平成26年4月1日より「消防水利の基準」の改定に基づき水利数変更。

☆ 防火水槽・貯水槽のうち、耐震性を有する貯水槽

水利 管轄区分	耐震性貯水槽				
	100m ³ 以上	60m ³ 以上 100m ³ 未満	40m ³ 以上 60m ³ 未満	20m ³ 以上 40m ³ 未満	計
小千谷市		3	33		36
長岡市 川口地域		1	4		5
計		4	37		41

3 消防資器材整備状況

平成28.4.1 現在

名 称	規 格	数 量
ホ ー ス	40mm・50mm・65mm	367
可 搬 式 ポ ン プ	C-1級	3
ジ ェ ッ ト シ ュ ー タ ー	手動式 20ℓ	10
ラ ビ ッ ト シ ュ ー タ ー	エンジン式	3
中 継 用 組 立 水 槽	—	5
高 発 砲 消 火 装 置	東 消 式	1
LXフォームジェット ラインプロポーションナー	東 消 式	1
金 属 探 知 機	—	2

4 水防資材備蓄状況

平成28.4.1 現在

品 名	倉庫名 消防本部	東小千谷防 災備蓄倉庫 (元中子)	小千谷市水防倉庫			合 計
			元 町	川 井	五 辺	
布袋類 (枚)	3,000	5,000	20,000	900	20,000	48,900
縄 (kg)	20	6	35	10	17.5	88.5
鉄製杭 (本)	25	30	45	50	30	180
杭木類 (本)			30	30	100	160
鉄線 (kg)	25	25	25	25	25	125
T型マット			1			1
スコップ	30	10	12	12	20	84
かけや	4	2	2	7	2	17
ハンマー	3	2	3	1	2	11
鋸 (のこぎり)	1	1	4	3	1	10
鉋 (なた)	1		2	2	1	6
鎌 (かま)	22	5	8	6	6	47
つるはし	1	2	6	6	7	22
鍬 (くわ)			2	3	1	6
番線カッター	2	1	2	2	2	9
しの	2	2	3	2	2	11
ビニールシート	33	17	9	7	7	73
斧 (おの)	1		3	1	1	6
救命胴衣	34	33	30	10	20	127
ロープ		4				4
むしろ			60			60
一輪車	3		3			6
単管パイプ	10					10
土のう作成器	2					2
砂 (m ³)	2	1				3

※水防資材は危機管理課所管

5 消防車両一覧

平成28.4.1 現在

所属	車名	社名	登録番号	ポンプ	排気量	定員	総重量(kg)	年式	級別	購入年月
本部 (消防署)	化学車 (小千谷化学1)	日野	長岡 800 は 877	モリタ	6,400	6	11,370	2009	A-2	H 21. 2
	消防ポンプ自動車 (小千谷ポンプ1)	日野	長岡 800 す 1654	長野ポンプ	4,000	5	6,475	2015	A-2	H 27. 12
	消防ポンプ自動車 (小千谷ポンプ2)	日野	長岡 800 さ 6680	モリタ	4,000	5	6,105	2007	A-2	H 19. 2
	水槽付消防ポンプ自動車 (小千谷タンク1)	日産	長岡 88 や 3096	日本ドライ	6,920	7	9,555	1996	A-1	H 8. 8
	救助工作車 (小千谷救助1)	日野	長岡 800 は 1016	-	6,400	6	10,880	2010	-	H 23. 2
	梯子車 (小千谷梯子1)	マギルス	長岡 88 や 3040	-	7,680	6	14,940	1996	-	H 8. 3
	高規格救急自動車 (小千谷救急1)	トヨタ	長岡 832 ふ 119	-	2,690	7	3,155	2014	-	H 26. 10
	高規格救急自動車 (小千谷救急2)	トヨタ	長岡 831 ふ 119	-	2,690	7	3,215	2008	-	H 20. 11
	災害多目的車 (小千谷指令1)	トヨタ	長岡 800 さ 317	-	2,980	15	2,855	1999	-	H 11. 8
	資機材運搬車 (小千谷指令2)	マツダ	長岡 800 さ 7088	-	2,990	3	4,235	2007	-	H 19. 9
	防火指導車 (小千谷指令3)	スズキ	長岡 80 あ 1155	-	660	4	1,410	2001	-	H 13. 6
	指揮車 (小千谷指令5)	マツダ	長岡 830 に 119	-	2,260	5	1,785	2004	-	H 16. 8
	水槽付消防自動二輪車 (ミストドラゴン1)	ヤマハ	長岡 え 5251	日本機械	249	1	270	2006	-	H 18. 6
	水槽付消防自動二輪車 (ミストドラゴン2)	ヤマハ	長岡 え 5252	日本機械	249	1	270	2006	-	H 18. 6
川口出張所	消防ポンプ自動車 (川口ポンプ1)	日野	長岡 800 さ 9866	長野ポンプ	4,000	5	6,615	2012	A-2	H 24. 11
	高規格救急自動車 (川口救急1)	トヨタ	長岡 832 そ 119	-	2,690	7	3,205	2012	-	H 24. 1
	指令車 (川口指令1)	トヨタ	長岡 800 す 1451	-	1,490	5	2,130	2015	-	H 27. 7

※ () は無線呼出名称。



救急救助關係

救急関係

1 事故種別出場状況

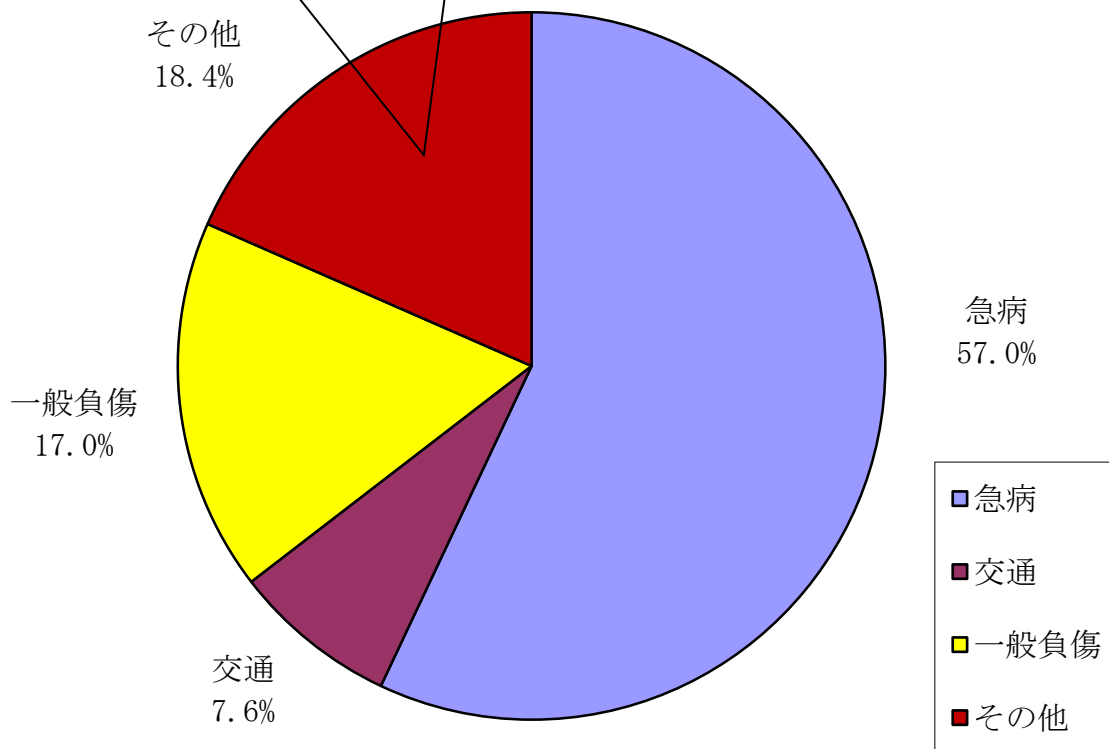
平成27.1.1~12.31

種別 地区別		合	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
		計	災	然 災 害	難	通	働 災 害	動 競 技	般 負 傷	害	損 行 為	病	の 他
出 場 件 数	小千谷市	1,360	1			94	19	7	217	3	16	771	232
	長岡市川口地域	193				17	3	1	48	1	1	118	4
	高速道路	7				4			1			2	
	管外応援	3				3							
	合計	1,563	1	0	0	118	22	8	266	4	17	891	236
不 搬 送 件 数	小千谷市	99				11	1		13		4	68	2
	長岡市川口地域	18				4			3		1	10	
	高速道路	2				1						1	
	管外応援	2				2							
	合計	121	0	0	0	18	1	0	16	0	5	79	2
搬 送 人 員	小千谷市	1,279	1			100	19	7	204	3	12	703	230
	長岡市川口地域	177				15	3	1	45	1		108	4
	高速道路	8				6			1			1	
	管外応援	1				1							
	合計	1,465	1	0	0	122	22	8	250	4	12	812	234

2 事故種別出場比率

平成27. 1. 1～12. 31

火災	1件 (0.1%)	労働災害	22件 (1.4%)	運動競技	8件 (0.5%)
加害	4件 (0.2%)	自損行為	17件 (1.1%)	転院搬送	235件 (15.0%)
その他	1件 (0.1%)				



(件)

事故種別	合計	急病	交通	一般負傷	その他
出場件数	1,563	891	118	266	288

3 地区別出場状況

平成27. 1. 1～12. 31

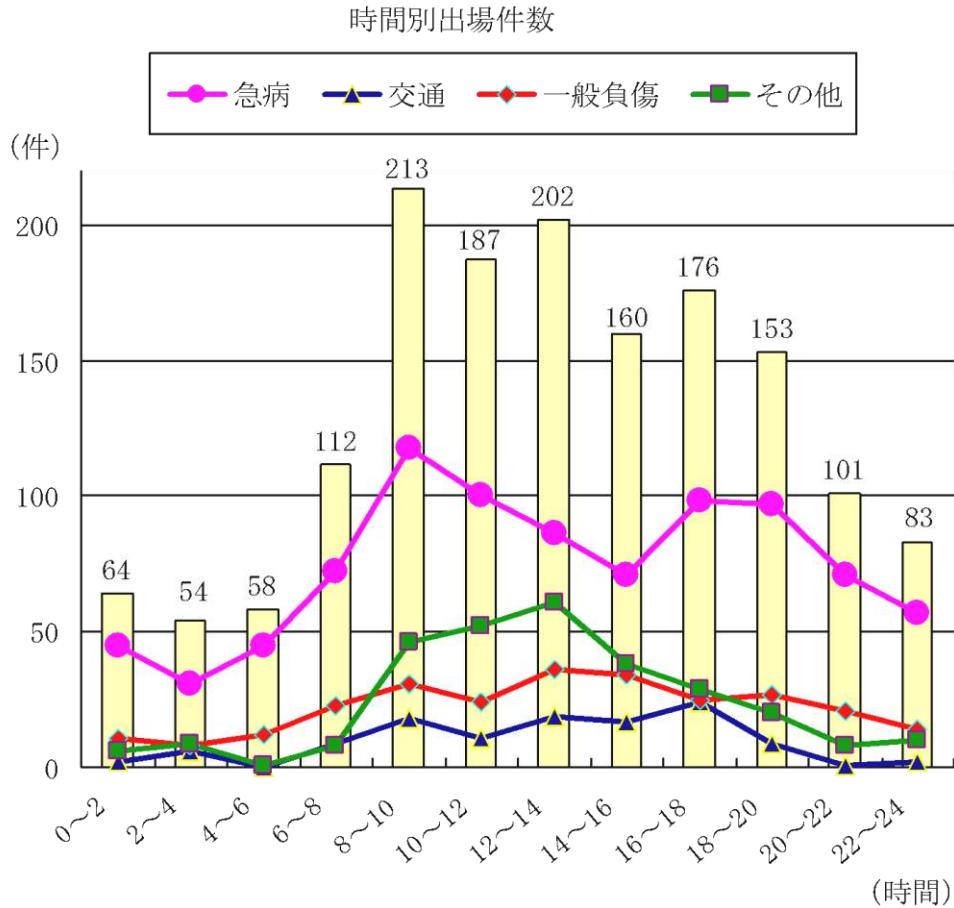
(件)

		合 計	急 病	交 通	一般負傷	そ の 他
小 千 谷 市	城 川	422	181	20	56	165
	西 小 千 谷	251	117	10	44	80
	東 小 千 谷	200	139	19	35	7
	片 貝	137	98	3	23	13
	千 田	124	84	16	18	6
	山 辺	55	34	13	6	2
	吉 谷	55	35	4	16	
	真 人	43	26	6	9	2
	岩 沢	21	15	2	3	1
	五 辺 ・ 高 梨	21	18		3	
	東 山	16	12		2	2
	川 井	15	12	1	2	
	合 計	1,360	771	94	217	278
長 岡 市 川 口 地 域	西 川 口	61	39	1	19	2
	東 川 口	46	30	4	8	4
	中 山	18	11	2	4	1
	牛 ヶ 島	16	8	3	4	1
	和 南 津	16	11	3	2	
	相 川	13	8	2	3	
	田 麦 山	9	4		5	
	荒 谷	6	3	2	1	
	武 道 窪	5	2		1	2
	木 沢	3	2		1	
	峠	0				
合 計	193	118	17	48	10	
高 速 道 路	関越自動車道 上り	5	2	2	1	
	関越自動車道 下り	2		2		
	合 計	7	2	4	1	0
管 外 応 援	長 岡 市	1		1		
	十 日 町 市	1		1		
	魚 沼 市	1		1		
	合 計	3	0	3	0	0
合 計		1,563	891	118	266	288

4 時間別出場状況

出場件数を時間別で見ると、午前8時から午前10時の213件が最多でした。

平成27.1.1～12.31

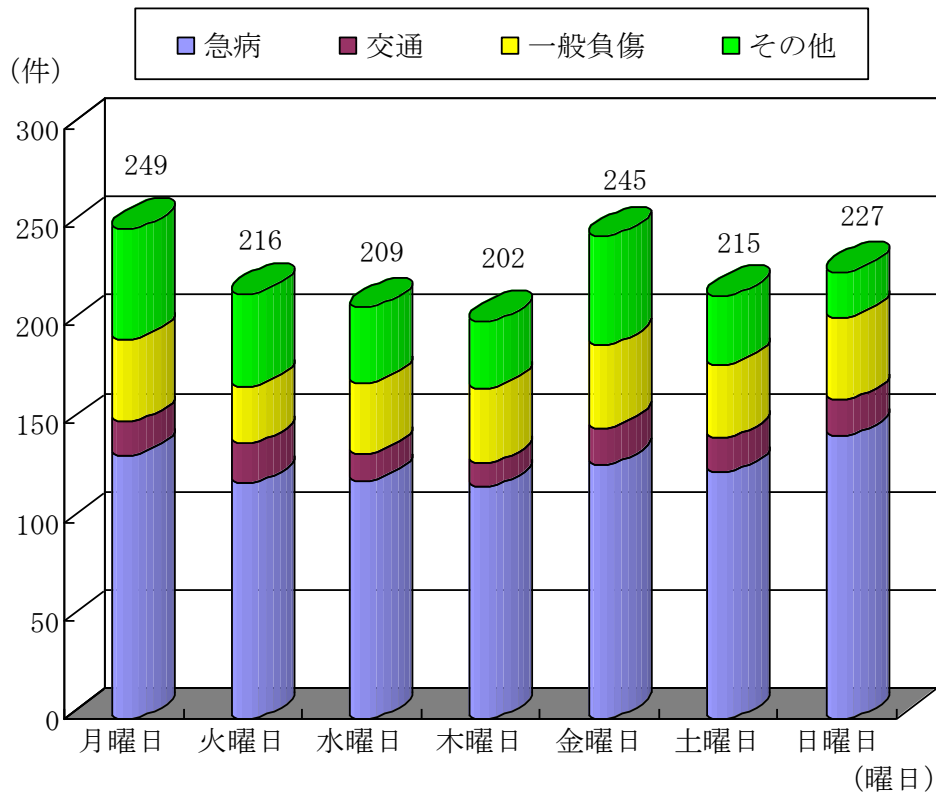


(件)

時間 種別	計	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22
		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
合計	1,563	64	54	58	112	213	187	202	160	176	153	101	83
急病	891	45	31	45	72	118	100	86	71	98	97	71	57
交通	118	2	6		9	18	11	19	17	24	9	1	2
一般負傷	266	11	8	12	23	31	24	36	34	25	27	21	14
その他	288	6	9	1	8	46	52	61	38	29	20	8	10

5 曜日別出場状況

平成27. 1. 1～12. 31



(件)

曜日 種別	計	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
合計	1,563	249	216	209	202	245	215	227
急病	891	134	120	121	118	129	125	144
交通	118	17	20	14	12	19	18	18
一般負傷	266	42	29	36	38	42	37	42
その他	288	56	47	38	34	55	35	23

6 月別出場状況

平成27.1.1~12.31

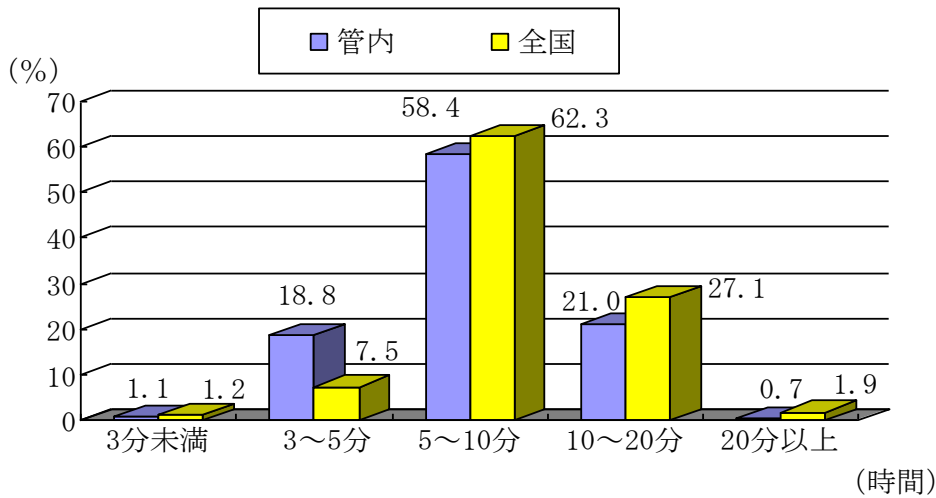
事故種別	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
												転院搬送	その他	
1月	救急出場件数	149			10	3		24		2	91	19		
	不搬送件数	11			2			2			7			
	搬送人員	140			10	3		22		2	84	19		
2月	救急出場件数	123			7	4		27		1	68	16		
	不搬送件数	11			2			1		1	7			
	搬送人員	113			6	4		26			61	16		
3月	救急出場件数	105	1		9			25		1	57	12		
	不搬送件数	12			2			1		1	8			
	搬送人員	93	1		7			24			49	12		
4月	救急出場件数	109			12			21			60	15	1	
	不搬送件数	13			1			5			6		1	
	搬送人員	99			14			16			54	15		
5月	救急出場件数	136			7	2	2	25		1	74	25		
	不搬送件数	10				1					9			
	搬送人員	129			9	2	2	25		1	65	25		
6月	救急出場件数	125			7	1		29		2	62	24		
	不搬送件数	7			2			1			3	1		
	搬送人員	119			6	1		28		2	59	23		
7月	救急出場件数	167			11		2	21	2	1	106	24		
	不搬送件数	12			4			1			7			
	搬送人員	157			9		2	20	2	1	99	24		
8月	救急出場件数	149			15	3		17		2	89	23		
	不搬送件数	9			2			2		1	4			
	搬送人員	143			16	3		15		1	85	23		
9月	救急出場件数	109			6		2	18	2	3	65	13		
	不搬送件数	5						1			4			
	搬送人員	105			7		2	17	2	3	61	13		
10月	救急出場件数	132			11	2	2	16		3	75	23		
	不搬送件数	14			2					2	10			
	搬送人員	121			12	2	2	16		1	65	23		
11月	救急出場件数	127			15	4		25			67	16		
	不搬送件数	10						2			8			
	搬送人員	117			15	4		23			59	16		
12月	救急出場件数	132			8	3		18		1	77	25		
	不搬送件数	7			1						6			
	搬送人員	129			11	3		18		1	71	25		
合計	救急出場件数	1,563	1	0	0	118	22	8	266	4	17	891	235	1
	不搬送件数	121	0	0	0	18	1	0	16	0	5	79	1	1
	搬送人員	1,465	1	0	0	122	22	8	250	4	12	812	234	0

7 現場到着所要時間別出場件数の状況

119番通報を受信してから現場に到着するまでの所要時間は、平均で7.3分でした。

* 全国平均は8.6分（平成26年版消防白書より）です。

平成27. 1. 1～12. 31



	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上
管内 (%)	1.1	18.8	58.4	21.0	0.7
全国 (%)	1.2	7.5	62.3	27.1	1.9

(件)

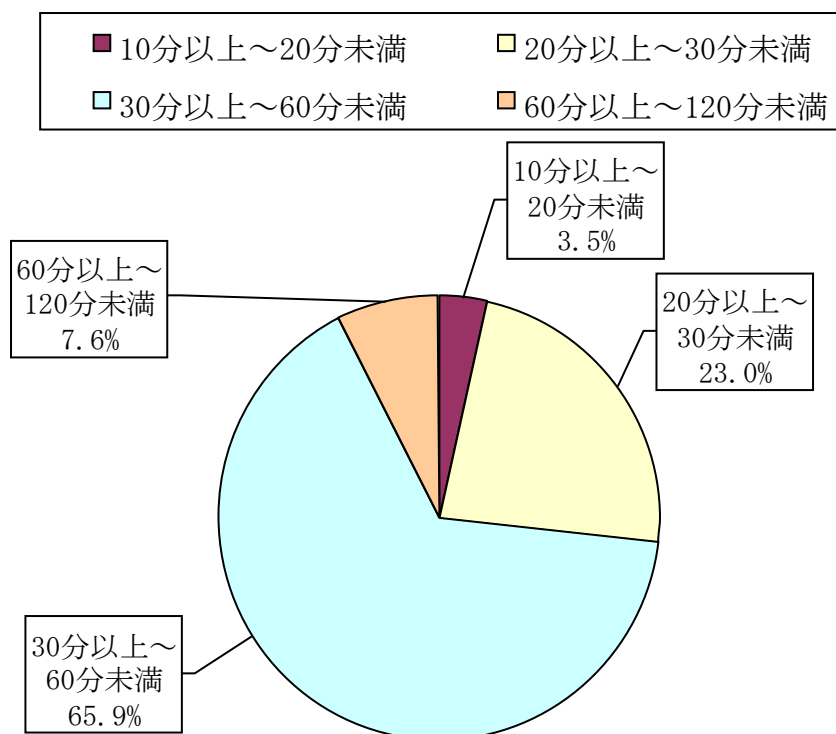
種 別		所 要 時 間							
		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合 計	平 均 (分)	最 高 (分)
件 数	急 病	5	84	584	212	6	891	7.8	26
	交 通	1	12	64	40	1	118	8.7	21
	一 般 負 傷	2	42	161	58	3	266	7.6	25
	そ の 他	9	156	104	18	1	288	5.0	21
合 計		17	294	913	328	11	1,563		

8 事故種別搬送人員収容所要時間状況

119番通報を受信してから傷病者を医療機関に収容するまでに要した時間は平均で39.0分でした。

* 全国平均は39.4分（平成26年版消防白書より）です。

平成27. 1. 1～12. 31



(人)

種別	時間	所要時間						合計	平均(分)	最高(分)
		10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上			
搬送人員	急病		25	217	519	51		812	38.4	107
	交通		3	27	68	24		122	44.2	91
	一般負傷		7	75	146	22		250	39.7	92
	その他		17	17	233	14		281	38.1	87
	合計		0	52	336	966	111	0	1,465	

9 年齢別・程度別・事故種別搬送人員数

平成27. 1. 1～12. 31
(人)

年齢区分	事故別 傷病程度	合計	事故種別											
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
新生児	死亡	0												
	重症	0												
	中等症	1												1
	軽症	0												
	その他	0												
	計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
乳幼児	死亡	0												
	重症	3										2	1	
	中等症	13							1			8	4	
	軽症	29				2			10			17		
	その他	0												
	計	45	0	0	0	2	0	0	11	0	0	27	5	
少年	死亡	0												
	重症	1												1
	中等症	6				1		1				3	1	
	軽症	32				6		6	7			13		
	その他	0												
	計	39	0	0	0	7	0	7	7	0	0	16	2	
成人	死亡	9							1		3	4	1	
	重症	44				3	1		3		1	22	14	
	中等症	122	1			5	4		12	1	2	59	38	
	軽症	240				64	13	1	29	3	1	123	6	
	その他	1										1		
	計	416	1	0	0	72	18	1	45	4	7	209	59	
高齢者	死亡	46				2			6		3	34	1	
	重症	203				5	2		38		1	104	53	
	中等症	347				5	1		43			207	91	
	軽症	368				29	1		100		1	215	22	
	その他	0												
	計	964	0	0	0	41	4	0	187	0	5	560	167	
合計	死亡	55				2			7		6	38	2	
	重症	251				8	3		41		2	128	69	
	中等症	489	1			11	5	1	56	1	2	277	135	
	軽症	669				101	14	7	146	3	2	368	28	
	その他	1										1		
	計	1,465	1	0	0	122	22	8	250	4	12	812	234	

※年齢区分

新生児：生後28日未満

少年：満7歳以上満18歳未満

高齢者：満65歳以上

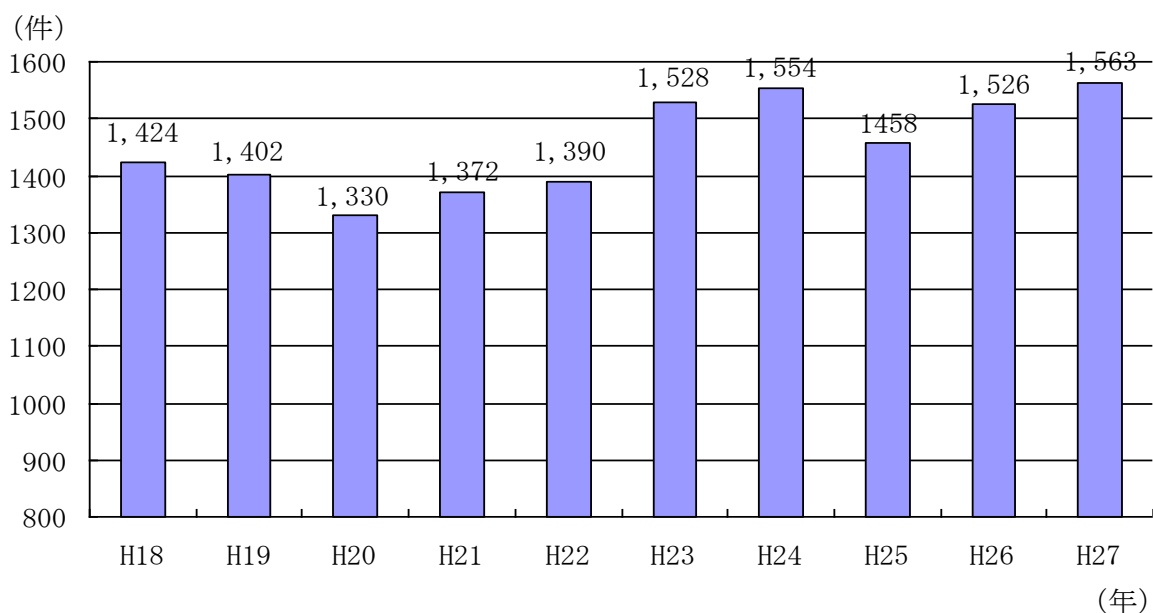
乳幼児：生後28日以上満7歳未満

成人：満18歳以上65歳未満

10 過去5年間の事故種別出場状況

年		事故種別	合計	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
				災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の
23年	出場件数	1,528			1	127	16	9	290	4	24	873	184	
	不搬送	121				8	1		21	1	8	80	2	
	搬送人員	1,428			1	135	15	9	270	3	17	796	182	
24年	出場件数	1,554	2	2	2	172	16	4	283	2	23	860	188	
	不搬送	125	1	2		24	1		19		10	68		
	搬送人員	1,474	1		2	192	15	4	265	2	13	792	188	
25年	出場件数	1,458	2			124	23	5	283	8	22	791	200	
	不搬送	117	1			16			19	1	11	67	2	
	搬送人員	1,371	1			134	23	6	264	7	11	727	198	
26年	出場件数	1,526	2			123	17	7	258	8	27	866	218	
	不搬送	118				14			20		7	72	5	
	搬送人員	1,433	2			131	17	7	239	10	20	794	213	
27年	出場件数	1,563	1			118	22	8	266	4	17	891	236	
	不搬送	121				18	1		16		5	79	2	
	搬送人員	1,465	1			122	22	8	250	4	12	812	234	

1.1 過去10年間の出場件数の推移



1.2 搬送人員別医療機関問合せ回数

問合せ回数	1回	2回	3回	4回	5回以上
搬送人員	902	181	95	31	22

※1 平均問合せ回数は1.46回で、最多問合せ回数は9回でした。

※2 転院搬送234人を除く。

1.3 転送回数別搬送人員

回数	合計	0回	1回	2回以上
搬送人員	1,465	1,461	4	

※1 転送とは、最初の医療機関に収容できず、他の医療機関に収容したものを。

※2 転送回数「0回」とは、最初の医療機関に収容したものを。

1.4 転送理由別件数

理由	合計	ベッド満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難	理由不明	その他
件数	4					4		

1.5 事故種別収容医療機関状況

搬送人員数1,465人のうち、小千谷市の医療機関に収容した人員は861人で搬送人員数の58.8%（前年61.1%）でした。

平成27.1.1～12.31

(人)

区域	医療機関	合計	急病	交通	一般負傷	その他
小千谷市	告示 小千谷総合病院	591	373	55	124	39
	告示 魚沼病院	199	158	4	27	10
	山本医院	43	20	7	14	2
	根元整形外科医院	19	2	11	6	
	北村医院	2			2	
	池田内科医院	2	1		1	
	小千谷さくら病院	1	1			
	小林整形外科医院	1				1
	かつみ医院	1	1			
	山下メンタルクリニック	1				1
	中村内科消化器科医院	1	1			
長岡市	告示 長岡赤十字病院	212	94	18	30	70
	告示 長岡中央総合病院	186	74	6	27	79
	告示 立川総合病院	168	76	14	13	65
	告示 長岡西病院	3	2		1	
	田宮病院	5	4			1
	吉田病院	2				2
新潟市	告示 新潟大学医歯学総合病院	4		1	1	2
	告示 県立がんセンター新潟病院	1	1			
その他	告示 魚沼基幹病院	11		5	1	5
	告示 県立十日町病院	4		1	1	2
	告示 市立小出病院	3			2	1
	告示 南魚沼市立ゆきぐに大和病院	1	1			
	山口医院	2	2			
	中条第二病院	1				1
	ほんだ病院	1	1			
合計		1,465	812	122	250	281

※ 告示は救急告示病院を示す。

16 署所別出場状況

平成27.1.1～12.31

	合 計	小千谷市消防署	川口出張所
出 場 件 数	1,563件	1,266件	297件
不 搬 送 件 数	121件	94件	27件
搬 送 人 員 数	1,465人	1,189人	276人

17 覚知別出場状況

平成27.1.1～12.31
(件)

覚 知 別	119	携帯119	普通電話	駆け込み	その他	自己覚知
件 数	936	316	145	7	158	1

18 搬送傷病者居住地状況

平成27.1.1～12.31
(人)

全 搬 送 者 数 1,465			
管 内 居 住 者 1,276		管 外 居 住 者 189	
小 千 谷 市	長 岡 市 川 口 地 域	県 内	県 外
1,111	165	154	35

19 発生場所別搬送人員数

平成27.1.1～12.31
(人)

場 所 種 別	計	住 宅	公衆出入場所	仕 事 場	道 路	そ の 他
急 病	812	602	154	27	17	12
交 通	122		5		115	2
一般負傷	250	155	46	6	35	8
そ の 他	281	14	246	19	2	
合 計	1,465	771	451	52	169	22

※「発生場所」とは、事故等の発生した場所又は傷病者の居た場所をいう。
「住宅」とは、一般住宅及び高層住宅等で住居として使用している場所をいう。
「公衆出入場所」とは、多数の人が集まる場所をいう。
「仕事場」とは、事務所・工場・作業所・各種事業所等の仕事をしている場所をいう。
(上記場所の従業員を含む)
「道路」とは、一般道路・高速道路・交差点・歩道及び歩道橋等をいう。
「その他」とは、上記以外の場所で公園・広場・空地・農地等をいう。なお、発生場所が不明なものを含む。

20 応急処置等実施状況

平成27.1.1～12.31

	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
止血	44				3	6	1	26	2	1	5	
固定	127				42	4	2	65		1	4	9
人工呼吸	10				1			2			5	2
心マッサージ	0											
心肺蘇生（自動）	10							1		1	8	
心肺蘇生	48				2	7				7	32	
酸素吸入	396	1			17	1		37		10	272	58
気道確保	73				3			11		7	49	3
気道確保 *1	0											
気道確保 *2	10				1			5			3	1
気道確保 *3	24				2			6		3	13	
保温	68				8			15			37	8
被覆	104				28	12		57	3	2	2	
在宅療法維持	3										3	
ショックパンツ	0											
除細動	0											
静脈路確保	26				2			6		4	14	
薬剤投与	13				1			4		1	7	
その他の応急処置	1,168				85	10	5	164	1	11	701	191
血圧測定	1,309	1			112	20	7	227	3	7	719	213
聴診器による呼吸音等の聴取	496	1			38	3	2	56		4	339	53
血中酸素飽和度の測定	1,328	1			112	20	7	226	3	7	739	213
心電図	851				48	4	1	89		8	546	155

※1 対象者は搬送人員1,465人のうち応急処置を実施した1,380人です。

※2 気道確保のうち*1は経鼻エアウェイ使用、*2は喉頭鏡、鉗子等による異物除去、*3はラリングアルマスク等による気道確保。

2 1 救急資器材

名	称
体温計	バックボード
手動式人工呼吸器バック	カーディオポンプ
手動引金式人工蘇生器	在宅医療継続処置セット
心肺蘇生用背板	ショックパンツ
電動式吸引器	血圧計
マジックギブス一式	聴診器
頸椎固定用ギブス一式	血中酸素飽和測定器
ストレッチャー	心電図モニター
サブストレッチャー	経鼻エアウェイ
スクープストレッチャー	喉頭鏡
布担架	マギール鉗子
酸素ボンベ	呼吸循環監視モニター
車両用オゾン殺菌器	輸液ポンプ
器具用EOG滅菌器	自動式心肺蘇生装置
自動式手指消毒器	ラリングアルチューブ
噴霧消毒器	自動体外式除細動器
血糖測定器	ポケットCO2モニター

2 2 訓練用資器材

名	称	備	考
レ	サ	シ	ア
C	P	R	マ
A	E	D	ト
蘇	生	訓	練
氣	道	管	理
静	脈	採	血

救助関係

2 3 事故種別、発生場所別救助出動状況

平成27. 1. 1～12. 31

事故種別 発生場所		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる 事故	建物等 による 事故	その他 の事故	計
屋内	住居						1		1
	その他								0
道路	高速道路		1						1
	その他		12						12
水面									0
山岳								1	1
その他屋外			1			1		3	5
計		0	14	0	0	1	1	4	20

2 4 事故種別、発生場所別救助活動状況

平成27. 1. 1～12. 31

事故種別 発生場所		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる 事故	建物等 による 事故	その他 の事故	計
屋内	住居						1		1
	その他								0
道路	高速道路		1						1
	その他		2						2
水面									0
山岳								1	1
その他屋外								3	3
計		0	3	0	0	0	1	4	8

2 5 事故種別、発生場所別救助人員状況

平成27. 1. 1～12. 31

事故種別 発生場所		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる 事故	建物等 による 事故	その他 の事故	計
屋内	住居						1		1
	その他								0
道路	高速道路		1						1
	その他		3						3
水面									0
山岳								1	1
その他屋外								3	3
計		0	4	0	0	0	1	4	9

26 救助資機材


平成28.4.1現在

分類	資機材名称		数量	工作車積載	政令別表	
一般救助用器具	かぎ付はしご		3	◎	1	
	三連はしご		2	◎	1	
	ワイヤーロープはしご		1	◎	1	
	空気式救助マット		1	◎	1	
	救命索発射銃		1	◎	1	
	サバイバースリング・救助用縛帯		1・4	◎	1	
	平担架		1		1	
	カラビナ	カラビナ	24	◎	1	
		スーパーカラビナ	14	◎	1	
	滑車	シングル滑車	4	◎	1	
ダブル滑車		2	◎	1		
ワイヤー用滑車		4	◎	1		
重量物排除用器具	油圧ジャッキ（油圧ラムシリンダー）		2	◎	1	
	大型油圧スプレッダー		2	◎	2	
	可搬式ウィンチ（チルホール）		1	◎	1	
	ワイヤーロープ		10	◎	1	
	マンホール救助器具（ロールグリス）		1	◎	1	
	マット型空気ジャッキ一式（エアマイティ）		1	◎	2	
切断用器具	大型油圧カッター		2	◎	1	
	エンジンカッター		2	◎	1	
	ガス溶断機（アークエアー）		1		1	
	ガソリン溶断機（バーニングカッター）		1	◎	1	
	チェーンソー		2	◎	1	
	鉄線カッター		2	◎	1	
	空気鋸		1		2	
	空気切断機		1	◎	2	
破壊用器具	万能斧（RCバール・トップマントビ）		5	◎	1	
	ハンマー		1	◎	1	
	携帯用コンクリート破壊器具（ストライカー）		1	◎	1	
	削岩機		1		2	
	ハンマドリル		1	◎	2	
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器（MSAアルティア5）		1	◎	1	
	有毒ガス測定器（MSAアルティア5）		1	◎	1	
	酸素濃度測定器（MSAアルティア5）		1	◎	1	
	放射線測定器		2	◎	2	
呼吸保護用器具	空気呼吸器	本体	31	◎	1	
		空気ボンベ	4.6ℓ	36		1
			6.75ℓ	28	◎	1
			8.0ℓ	2	◎	1
	簡易呼吸器		2		2	
送排風機		2	◎	2		

分類	資機材名称	数量	工作車積載	政令別表	
隊員保護用器具	革手袋	8	◎	1	
	耐電手袋	5	◎	1	
	耐電衣	3	◎	2	
	耐電ズボン	3	◎	2	
	耐電長靴	3	◎	2	
	特殊ヘルメット	3	◎	2	
	安全帯	9	◎	1	
	防塵メガネ	5	◎	1	
	携帯警報器（レスキューコール）	5	◎	1	
	防毒マスク	6	◎	1	
	陽圧式化学防護服	6		1	
	耐熱服	3		1	
	放射線防護服（ポケット線量計含む）	6		1	
水難救助用器具	流水救助器具一式	1		1	
	救命胴衣	6		1	
	水中投光器	2		1	
	救命浮環	4		1	
	救命ボート	3		1	
	船外機	3		1	
	水中テレビカメラ	1		1	
山岳救助用器具	登山器具一式	4	◎	1	
	バスケット担架	2	◎	1	
	バーティカルストレッチャー	1	◎	1	
検索用器具	簡易画像探索機	1		1	
その他の救助用器具	投光器一式	発電機	3	◎	2
		投光器	4	◎	1
		三脚	4	◎	1
		コードリール	5	◎	1
	携帯投光器	4	◎	1	
	携帯拡声器	2	◎	1	
	携帯無線機	2	◎	1	
	応急処置用セット	1	◎	1	
	車両移動器具（ゴージャック）	1		1	
	緩降機	2		2	
	その他の携帯救助器具	鉋	1	◎	1
		鎌	2	◎	1
		鋸	1	◎	1
		剣スコップ	2	◎	1
		角スコップ	2	◎	1
		大斧	1	◎	1
		つるはし	1	◎	1
		掛矢	1	◎	1
		とび口	2	◎	1
		バール大	2	◎	1
バール小		2	◎	1	
ロープ登降機（ユマール）	3	◎	2		

※ 政令別表を基に、災害活動用として救助隊が管理する資機材を掲載したもの。

※ 空欄については、資器材庫及び倉庫にて保管。

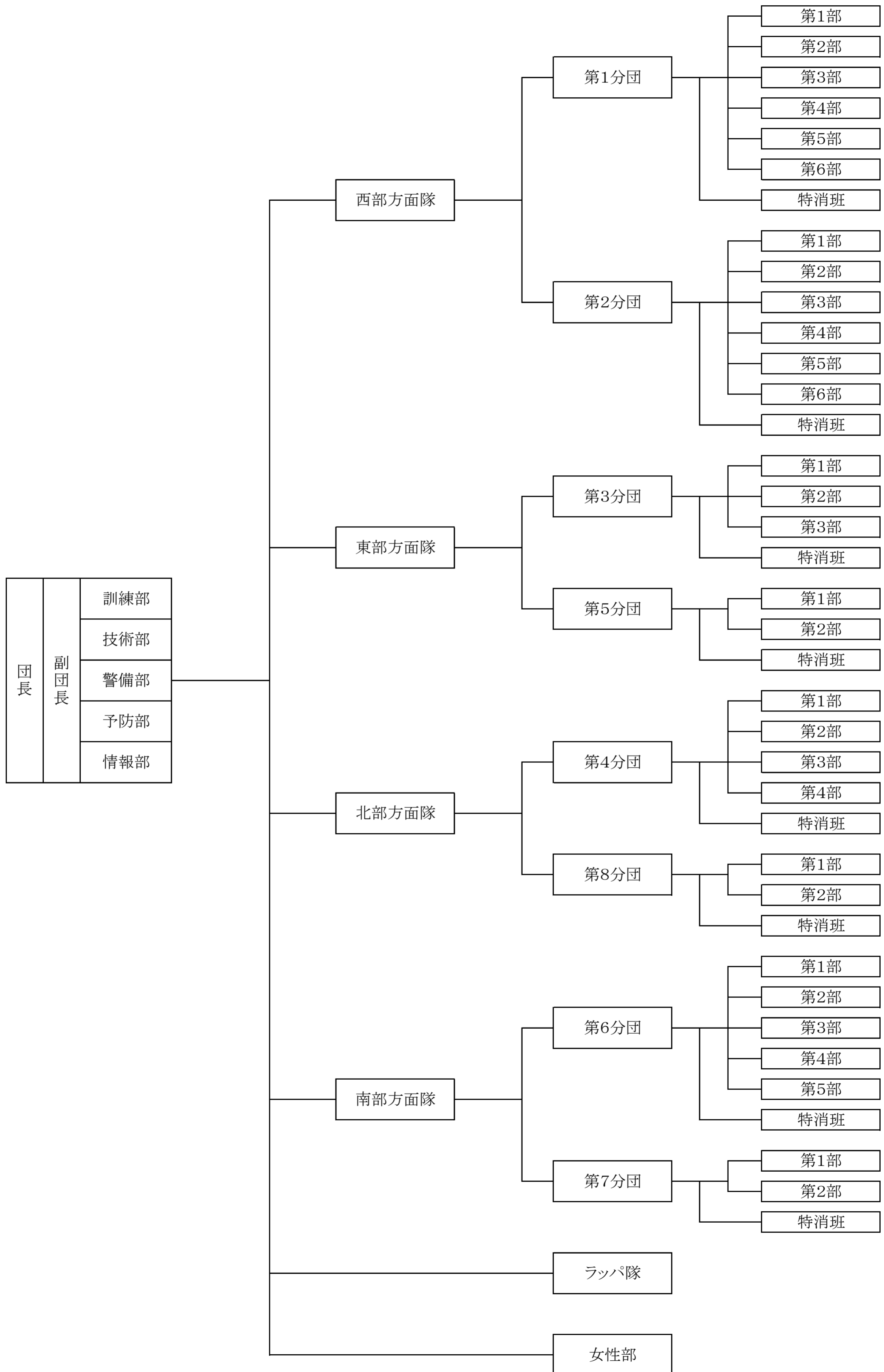


消防團關係

1 消防団組織図

☆ 小千谷市消防団

平成28.4.1 現在



2 歴代消防団長

平成28.4.1 現在

区分	氏名	在任期間	備考	
小千谷市	初	長井 与兵衛	S 14. 4. 1 ~ S 15. 8. 8	小千谷町警防団長
	2	五十嵐 原 治	S 15. 11. 20 ~ S 17. 12. 25	〃
	3	長谷川 長 松	S 17. 12. 26 ~ S 20. 9. 15	〃
	4	中島 福 治	S 21. 5. 16 ~ S 22. 8. 24	
	5	濁川 勇 蔵	S 22. 8. 25 ~ S 30. 5. 13	
	6	山谷 久 六	S 30. 5. 23 ~ S 36. 7. 7	
	7	星野 利 祐	S 36. 7. 8 ~ S 47. 4. 30	
	8	風間 三太郎	S 47. 5. 1 ~ S 54. 4. 1	
	9	吉岡 昭 和	S 54. 4. 2 ~ S 62. 4. 1	
	10	石田 英一郎	S 62. 4. 2 ~ H 62. 9. 3	
	11	岡村 寅 雄	S 62. 10. 1 ~ H 5. 3. 31	
	12	山岸 俊 夫	H 5. 4. 1 ~ H 9. 3. 31	
	13	岩渕 賢 次	H 9. 4. 1 ~ H 15. 3. 31	
	14	大平 和 芳	H 15. 4. 1 ~ H 19. 3. 31	
	15	金子 正 男	H 19. 4. 1 ~ H 23. 3. 31	
	16	本田 剛	H 23. 4. 1 ~ H 27. 3. 31	
	17	富井 正 志	H 27. 4. 1 ~ 現在に至る	

3 消防団の編成

平成28.4.1 現在

市	区分	団 数	方面隊数	分 団 数	部 数
小千谷市		1	4	8	30

4 消防団員の数

平成28.4.1 現在

市	区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
小千谷市	定 員	1	3	21	22	57	190	456	750
	現 員	1	2	16	22	52	175	430	698
	うち女性	—	—	—	1	1	2	11	15

5 消防団員の階級別報酬

平成28.4.1 現在
(単位：円)

市	区 分	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
小千谷市		97,000	67,500	48,500	36,000	31,000	24,000	21,500

6 消防団員の費用弁償

平成28.4.1 現在
(単位：円)

市	区 分	災 害 又 は 警 戒 出 動			演習訓練等
小千谷市	1 回 当 り の 出 動 手 当	4時間以内	4時間を超え 6時間迄	6時間を超え 8時間迄	2,000
		2,000	2,500	3,000	

7 消防車両・小型動力ポンプ配置一覧

☆ 小千谷市消防団

(1) 消防車両

平成28.4.1 現在

所 分団	属 部	配置先	車 両 種 別	車両登録 年 月	ポンプ メーカー	ポンプ 級 別	ポンプ 導入年月
1	1	上ノ山	救助資機材搭型積載車 ※2参照	H22. 8	シバウラ	B-3	H16. 2
	2	船岡	消防ポンプ自動車	H12. 7	モリタ	A-2	H12. 7
	3	山本	積載車	H27. 10	シバウラ	B-3	H27. 10
	4	上片貝	軽積載車	H20. 11	トーハツ	B-3	H20. 11
	5	打越 四ツ子(高畑)	積載車	H25. 11	トーハツ	B-3	H25. 11
			軽積載車	H15. 3	トーハツ	B-3	H 5. 12
6	二俣	積載車	H11. 11	トーハツ	B-3	H11. 12	
2	1	土川	消防ポンプ自動車	H 5. 12	モリタ	A-2	H 5. 12
	2	時水	積載車	H26. 11	トーハツ	B-3	H26. 11
	3	千谷川	積載車	H13. 12	トーハツ	B-3	H13. 12
	4	平沢	特装車	H10. 12	トーハツ	B-3	H10. 12
	5	桜町	消防ポンプ自動車	H 6. 9	日本機械工業	A-2	H 6. 9
	6	山谷	軽積載車	H18. 9	ラビット	B-3	H18. 9
3	1	東栄	消防ポンプ自動車	H 7. 11	モリタ	A-2	H 7. 11
			軽積載車Ⅱ型 ※1参照	H21. 10	シバウラ	B-3	H21. 10
	2	蕨生	積載車	H 8. 12	トーハツ	B-3	H 8. 12
3	木津	積載車	H23. 10	シバウラ	B-3	H23. 10	
4	1	千谷	積載車	H21. 10	トーハツ	B-3	H15. 3
	2	小栗田	特装車	H 9. 12	トーハツ	B-3	H 9. 12
	3	三仏生	積載車	H 8. 12	トーハツ	B-3	H15. 3
	4	五辺	消防ポンプ自動車	H 5. 8	日本機械工業	A-2	H 5. 8
	5	高梨	軽積載車	H16. 11	トーハツ	B-3	H 4. 12
5	1	浦柄	積載車	H27. 10	シバウラ	B-3	H27. 10
	2	岩間木 塩谷	積載車 ※2参照	H26. 2	ラビット	B-2	H26. 2
軽積載車			H20. 11	トーハツ	B-3	H20. 11	
6	1	干三	消防ポンプ自動車	H 7. 11	モリタ	A-2	H 7. 11
	2	本村	積載車	H11. 11	トーハツ	B-3	H11. 12
	3	芋坂	特装車	H 9. 12	トーハツ	B-3	H 9. 12
	4	塩殿	積載車	H12. 4	トーハツ	B-3	H12. 4
	5	池ヶ原 若柄	特装車	H12. 4	トーハツ	B-3	H12. 4
			特装車	H 8. 12	トーハツ	B-3	H 8. 12
6	市之沢	軽積載車	H16. 11	トーハツ	B-3	H 6. 12	
7	1	川井新田	積載車	H25. 11	トーハツ	B-3	H25. 11
		内ヶ巻	軽積載車	H19. 9	シバウラ	B-3	H19. 9
		冬井(戸屋・冬井・大崩)	軽積載車	H15. 3	トーハツ	B-3	H 7. 11
	2	桂	消防ポンプ自動車	H 8. 3	モリタ	A-2	H 8. 3
市ノ口		軽積載車	H22. 11	トーハツ	B-3	H 1. 8	
8	1	屋敷(一之町)	積載車	H24. 10	トーハツ	B-3	H24. 11
		屋敷(二之町)	消防ポンプ自動車	H 6. 12	モリタ	A-2	H 6. 12
	2	鴻巣	軽積載車	H16. 2	トーハツ	B-3	H 8. 12
	3	屋敷(三之町)	軽積載車Ⅱ型 ※1参照	H23. 10	シバウラ	B-3	H23. 10
4	池津	軽積載車	H16. 2	トーハツ	B-3	H 2. 10	
団本部	消防本部	司令車	H18. 2	—	—	—	
		指揮広報車	H26. 10	—	—	—	

※1 軽トラック型積載車を示す。

※2 総務省消防庁無償貸与車両を示す。

※3 H28.3.31以前の組織編成状況で記載する。(第三次小千谷市消防団整備計画の最終年)

(2) 小型動力ポンプ

平成28.4.1 現在

所 分団	属 部	配置先	メーカー	出力	級 別	導入年月
5	1	寺 沢	トーハツ	11.5	B-3	H 11. 12
		中 山	トーハツ	11.5	B-3	H 7. 11
	2	蘭 木	トーハツ	11.5	B-3	H 5. 12
6	3	細 島	トーハツ	11.5	B-3	H 2. 10

8 消防団無線設備

デジタル無線陸上移動局

平成28.4.1 現在

呼出名称	市波	団波	主波	統制波			配置場所	出力(W)	製造年
				1	2	3			
おぢやしょうぼうだんしき	1	○	○	○	○	○	現場指揮本部	10	H25
おぢやしょうぼうだん	1	○	○				団本部司令車	10	H25
おぢやしょうぼうだん	11	○	○				1-1(上ノ山)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	12	○	○				1-2(船岡P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	13	○	○				1-3(山本)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	14	○	○				1-4(上片貝)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	15	○	○				1-5(打越)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	16	○	○				1-5(高畑)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	17	○	○				1-6(二俣)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	21	○	○				2-1(土川P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	22	○	○				2-2(時水)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	23	○	○				2-3(千谷川)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	24	○	○				2-4(平沢)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	25	○	○				2-5(桜町P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	26	○	○				2-6(山谷)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	31	○	○				3-1(東栄P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	32	○	○				3-1(東栄)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	33	○	○				3-2(蕨生)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	34	○	○				3-3(木津)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	41	○	○				4-1(千谷)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	42	○	○				4-2(小栗田)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	43	○	○				4-3(三仏生)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	44	○	○				4-4(五辺P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	45	○	○				4-5(高梨)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	51	○	○				5-1(浦柄)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	52	○	○				5-2(岩間木)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	53	○	○				5-2(塩谷)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	61	○	○				6-1(千三P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	62	○	○				6-2(本村)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	63	○	○				6-3(芋坂)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	64	○	○				6-4(塩殿)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	65	○	○				6-5(池ヶ原)	10	H25
おぢやしょうぼうだん	66	○	○				6-6(市之沢)	10	H25

呼出名称	市波	団波	主波	統制波			配置場所	出力(W)	製造年
				1	2	3			
おぢやしょうぼうだん 67	○	○					6-6(若 栃)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 71	○	○					7-1(川 井)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 72	○	○					7-1(内ヶ巻)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 73	○	○					7-1(冬 井)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 74	○	○					7-2(桂 P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 75	○	○					7-2(市ノ口)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 81	○	○					8-1(片貝 P)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 82	○	○					8-1(片 貝)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 83	○	○					8-2(鴻 巣)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 84	○	○					8-3(片 貝)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 85	○	○					8-4(池 津)	10	H25
おぢやしょうぼうだん 201	○	○					団 長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 202	○	○					副 団 長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 203	○	○					副 団 長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 204	○	○					指令室管理	5	H25
おぢやしょうぼうだん 205	○	○					西部方面隊長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 206	○	○					東部方面隊長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 207	○	○					南部方面隊長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 208	○	○					北部方面隊長	5	H25
おぢやしょうぼうだん 209	○	○					本 団 員	5	H25
おぢやしょうぼうだん 210	○	○					本 団 員	5	H25
おぢやしょうぼうだん 211	○	○					本 団 員	5	H25
おぢやしょうぼうだん 212	○	○					本 団 員	5	H25
おぢやしょうぼうだん 213	○	○					指令室管理	5	H25
おぢやしょうぼうだん 214	○	○					指令室管理	5	H25
おぢやしょうぼうだん 215	○	○					指令室管理	5	H25

主 波：主運用波

※H28.3.31以前の組織編成状況で記載する。（第三次小千谷市消防団整備計画の最終年）

現場指揮簡易基地局	10W	1台
車載無線機	10W	43台
携帯無線機	5W	15台

9 消防器具置場等施設の数

平成28.4.1 現在

分 団 施 設	1	2	3	4	5	6	7	8	計
消防器具置場	7	6	3	5	7	8	6	3	45
ホース乾燥柱	7 (7)	6 (6)	3 (3)	5 (5)	6 (6)	9 (8)	6 (6)	3 (3)	45 (44)
火の見櫓	1					1			2
モーターサイレン	7	7	4	6	7	14	8	3	56

※1 消防器具置場欄は、地区を計上する。

※2 ホース乾燥柱欄の（ ）内は、モーターサイレンを取り付けたホース乾燥柱の数値を計上する。

※3 モーターサイレン欄は、ホース乾燥柱等にモーターサイレンが取り付けられている場合にも計上する。

※4 H28.3.31以前の組織編成状況で記載する（第三次小千谷市消防団整備計画の最終年）。

10 平成27年度中の主な工事等の状況

工事番号	工 事 名	数	場 所
消警工第1号	防火水槽撤去工事	1基	3 - 1 旭町
消警工第2号	ホース乾燥柱等設置工事	1基	1 - 2 船岡
消警工第3号	消防器具置場塗装工事	1棟	2 - 5 桜町
消警工第4号	モーターサイレン遠隔装置取付工事	1基	4 - 2 小栗田


工事番号	工 事 名	数	場 所
消警修第1号	消防器具置場赤色灯取替修繕工事	1棟	4 - 4 五辺
消警修第2号	モーターサイレン修繕工事	1基	7 - 1 冬井
消警修第3号	消防器具置場板金修繕工事	1棟	3 - 3 木津
消警修第4号	消防器具置場シャッター取替修繕工事	1棟	6 - 6 若栃
消警修第5号	消防器具置場板金修繕工事	1棟	1 - 3 山本
消警修第6号	消防器具置場ブレーカー取替他修繕工事	1棟	2 - 6 山谷

次頁に続く

前項の続き

工事番号	工 事 名	数	場 所
消警修第7号	消防器具置場ブレーカー取替他修繕工事	1棟	2 - 5 桜町
消警修第8号	消防器具置場窓ガラス取替修繕工事	1棟	4 - 4 五辺
消警修第9号	消防器具置場赤色灯取替修繕工事	1棟	8 - 3 片貝
消警修第10号	消防器具置場赤色灯取替修繕工事	1棟	3 - 3 木津
消警修第11号	消防器具置場赤色灯取替修繕工事	1棟	5 - 2 岩間木
消警修第12号	消防器具置場赤色灯取替修繕工事	1棟	1 - 3 山本
消警修第13号	ホース乾燥柱引綱取替修繕工事	1基	7 - 1 内ヶ巻
消警修第14号	ホース乾燥柱引綱取替修繕工事	1基	8 - 3 片貝
消警修第15号	ホース乾燥柱引綱取替修繕工事	1基	8 - 4 池津
消警修第16号	消防器具置場赤色灯取替修繕工事	1棟	8 - 2 鴻巣
消警修第17号	消防器具置場赤色灯取替修繕工事	1棟	4 - 3 三仏生
消警修第18号	消防器具置場シャッター取替修繕工事	1棟	4 - 2 小栗田
消警修第19号	消防器具置場外部鉄骨階段塗装工事	1棟	8 - 3 片貝
消警修第20号	防火水槽補水用仕切り板修繕	1基	8 - 3 片貝
消警修第21号	防火水槽鉄蓋修繕工事	1基	4 - 3 三仏生
消警修第22号	防火水槽冬囲い用ドラム缶溶接工事	1基	6 - 4 塩殿
消警修第23号	消防器具置場赤色灯取替修繕工事	1棟	1 - 5 打越
消警修第24号	消防器具置場赤色灯取替修繕工事	1棟	4 - 1 千谷
消警修第25号	消防器具置場赤色灯取替修繕工事	1棟	2 - 4 平沢
消警修第26号	消防器具置場赤色灯取替修繕工事	1棟	2 - 1 土川
消警修第27号	消防器具置場赤色灯取替修繕工事	1棟	2 - 3 千谷川
消警修第28号	消防器具置場赤色灯取替修繕工事	1棟	6 - 5 池ヶ原

工事番号	工 事 名	数	場 所
建他(消)第4号	耐震性貯水槽設置工事	1基	1 - 2 元町
建他(消)第5号	耐震性貯水槽設置工事	1基	2 - 4 城内



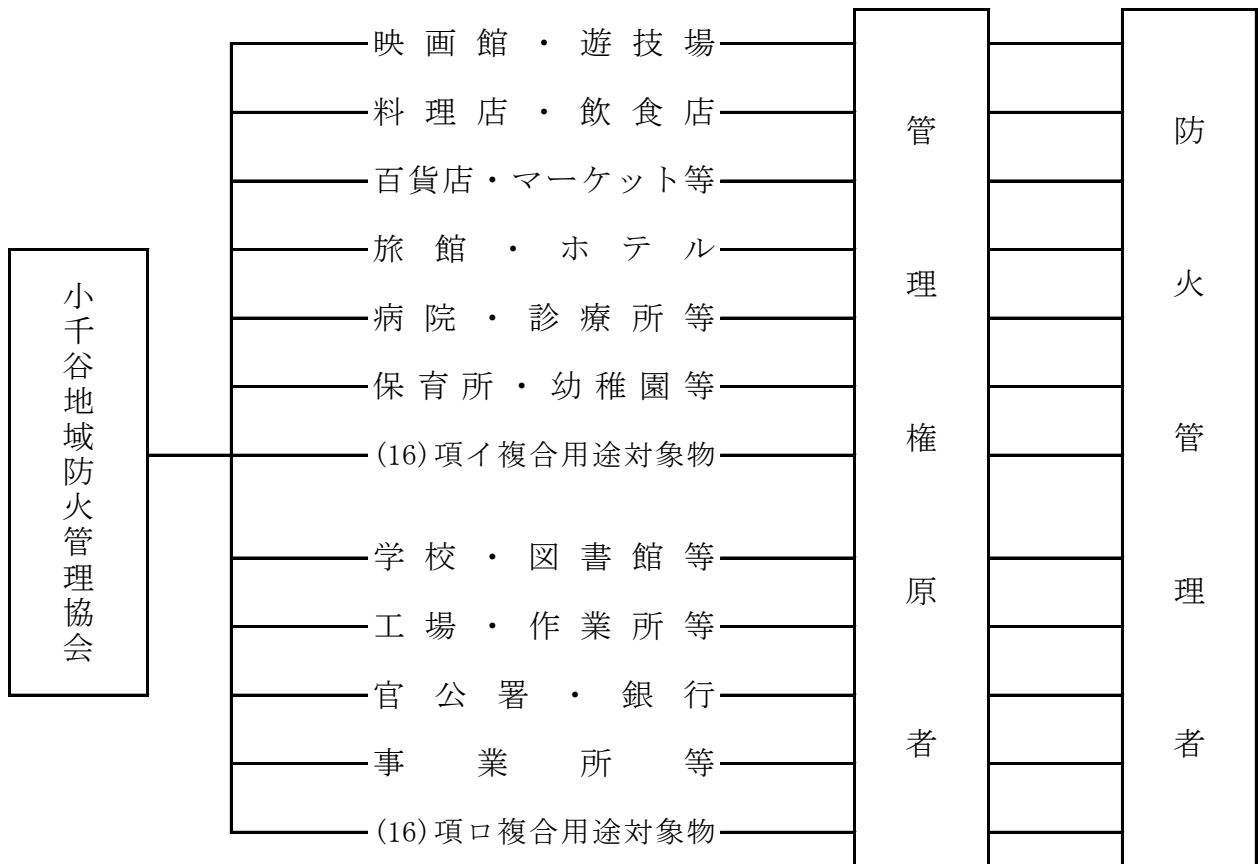
協力団体

1 小千谷地域防火管理協会

1 設 立

昭和40年	7月12日	～	昭和55年	3月31日	小千谷市防火管理協会
昭和55年	4月1日	～	現在に至る		小千谷地域防火管理協会

2 組織・機構



3 主たる事業

- (1) 消防機関と自衛消防隊との連携に関する事。
- (2) 関係法令等の周知徹底に関する事。
- (3) 防火思想の普及高揚に関する事。
- (4) 火災原因等防火情報の交換に関する事。
- (5) 消防訓練及び講習に関する事。
- (6) 防火管理者の教育に関する事。
- (7) 消防計画の研究に関する事。
- (8) 消防功労者の表彰に関する事。
- (9) その他、本会の目的達成に必要な事業

4 会員数

188事業所

(平成28年4月1日現在)

2 新潟県危険物安全協会小千谷地区支会

1 設 立

昭和35年 6月 6日 ~ 平成18年 3月31日

(財)新潟県危険物安全協会北魚沼地区支会

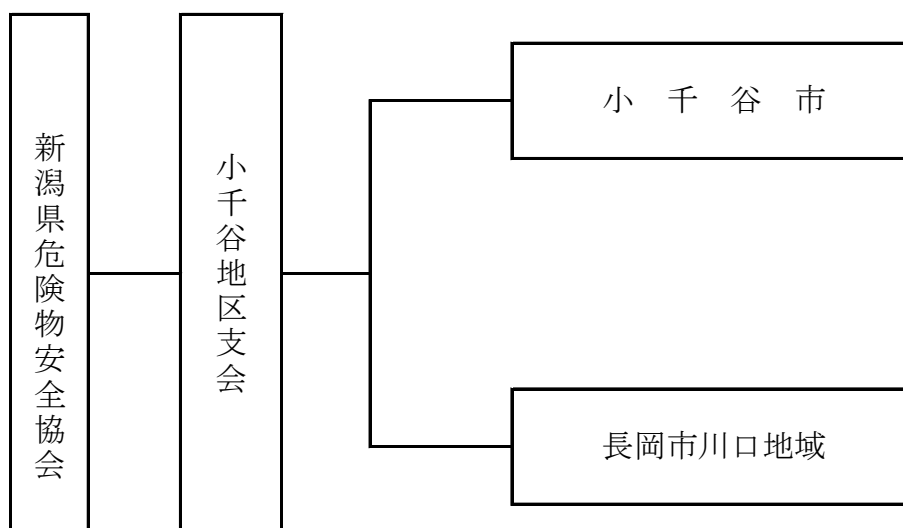
平成18年 4月 1日 ~ 平成25年 3月31日

(財)新潟県危険物安全協会小千谷地区支会

平成25年 4月 1日 ~ 現在に至る

新潟県危険物安全協会小千谷地区支会

2 組織・機構



3 主たる事業

- (1) 危険物の災害予防思想の普及徹底に関すること。
- (2) 危険物の安全な取扱い及び維持管理の研究に関すること。
- (3) 危険物の取扱いに関する各種講習会の実施に関すること。
- (4) 機関誌及び資料の発行に関すること。
- (5) 優良会員等の表彰に関すること。
- (6) その他目標達成に必要な事項

4 会員数

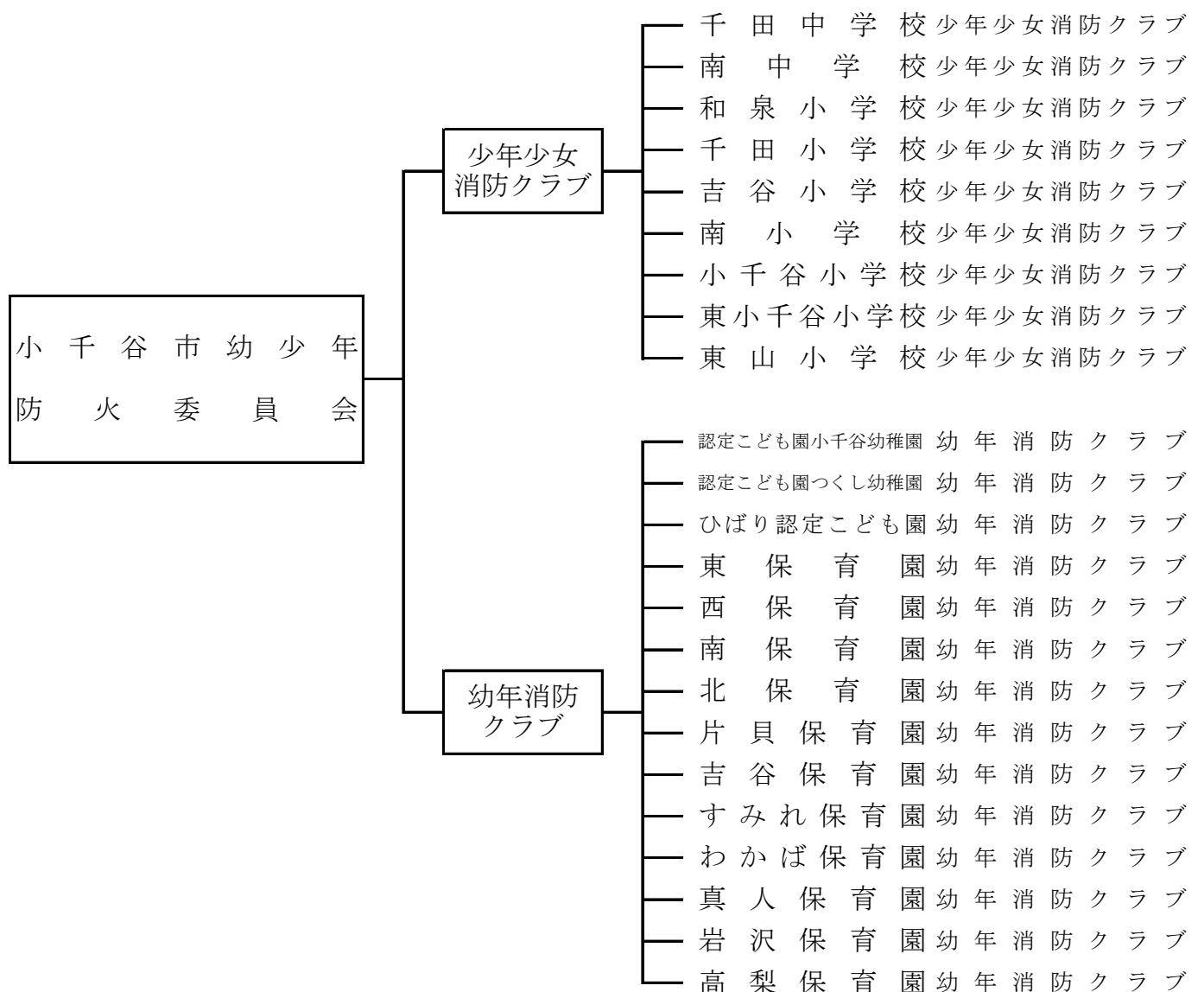
80事業所（平成28年3月31日現在）

3 小千谷市幼少年防火委員会

1 経 過

昭和56年10月13日	小千谷地域少年消防クラブ、小千谷地域婦人防火クラブ設立
昭和57年7月15日	上記2クラブを統合し、小千谷地域少年婦人防火委員会設立
昭和59年5月16日	小千谷地域幼年消防クラブ設立
平成10年5月15日	小千谷地域幼年消防クラブを統合し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会へ名称変更
平成14年9月27日	会則を変更し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会のクラブ組織一本化
平成22年8月4日	会則を一部改正し、小千谷市幼少年防火委員会に組織を変更
平成25年4月1日	岩沢小学校、真人小学校、川井小学校、塩殿小学校が南小学校に統廃合される

2 組織・機構



3 主たる事業

- ・ 小千谷市幼少年防火委員会
 - ア 防火防災知識の普及徹底
 - イ 防火防災のための研修及び訓練
 - ウ 各クラブ等関係組織相互間の連絡・調整
 - エ 事業所研修
 - オ 消防フェスティバルの参加・協力
 - カ その他本会の目的達成に必要な事項

- ・ 小千谷市少年少女消防クラブ
 - ア クラブの運営指導の研究に関する事項
 - イ クラブの育成指導に関する事項
 - ウ クラブの情報交換に関する事項
 - エ 外部との連絡に関する事項
 - オ その他本会の目的達成に必要な事項

- ・ 小千谷市幼年消防クラブ
 - ア クラブの運営指導の研究に関する事項
 - イ クラブの育成指導に関する事項
 - ウ クラブの情報交換に関する事項
 - エ 外部との連絡に関する事項
 - オ その他本会の目的達成に必要な事項

4 会員数 (平成28年4月1日現在)

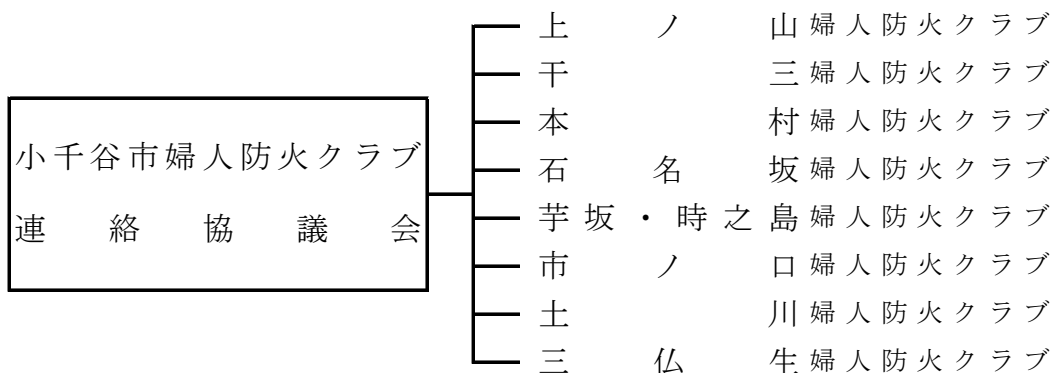
- ・ 小千谷市少年少女消防クラブ 1,629名
- ・ 小千谷市幼年消防クラブ 586名

4 小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会

1 経過

昭和56年10月13日	小千谷地域少年消防クラブ、小千谷地域婦人防火クラブ設立
昭和57年7月15日	上記2クラブを統合し、小千谷地域少年婦人防火委員会設立
昭和59年5月16日	小千谷地域幼年消防クラブ設立
平成10年5月15日	小千谷地域幼年消防クラブを統合し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会へ名称変更
平成14年9月27日	会則を変更し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会のクラブ組織一本化
平成21年4月1日	小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会設立
平成22年8月4日	会則の一部改正

2 組織・機構



3 主たる事業

- ア クラブの運営指導の研究に関する事項
- イ クラブの育成指導に関する事項
- ウ クラブの情報交換に関する事項
- エ クラブ等の未設置区域の解消及び組織の拡大・強化
- オ 外部との連絡に関する事項
- カ その他本会の目的達成に必要な事項

4 会員数 (平成28年4月1日現在)

- ・ 小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会 136名

消 防 年 報

(平成27年版)

発行 新潟県小千谷市消防本部

〒947-0028

新潟県小千谷市城内3丁目1番9号

TEL (0258) 81-0119

FAX (0258) 82-0209